SHARP

プロジェクター

ViewLight®

形名 XP-M401H-W/XP-M421W-W

取扱説明書

HDMI®

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

● ご使用の前に「安全にお使いいただくために」（5 ページ）を必ずお読みください。

もくじ

はじめに …… 4
安全にお使いいただくために …… 5
本書の表記について …… 22
1. 製品概要、添付品、名称を確認する …… 23
1-1. 特長 …… 23
1-2. 添付品の確認 …… 25
1-3. 本体各部の名称 …… 26
1-4. リモコン各部の名称 …… 31
1-5. AC アダプター …… 35
2. 映像を投写する（基本操作） …… 36
2-1. 映像を投写する流れ …… 36
2-2. コンピューターと接続する／ AC アダプターおよび電源コードを接続する …… 37
2-3. 本機の電源を入れる …… 39
2-4. 入力信号を選択する …… 42
2-5. 入力信号の再同期をする …… 43
2-6. 投写画面の位置と大きさを調整する …… 44
2-7. 台形歪みを調整する（台形補正（垂直）） …… 47
2-8. 本機の音量を調整する …… 48
2-9. 本機の電源を切る …… 49
2-10. 移動するときは …… 49
3. 便利な機能 …… 50
3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート） …… 50
3-2. 動画を静止画にする（静止） …… 50
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大） …… 51
4. オンスクリーンメニュー …… 52
4-1. オンスクリーンメニューの基本操作 …… 52
4-2. オンスクリーンメニュー一覧 …… 54
4-3. 調整 …… 56
4-4. オーディオ …… 63
4-5. 設定 …… 64
4-6. 情報 …… 68

5. 機器と接続する 69
5-1. コンピューターや映像機器と接続する 69
6. 本体のお手入れ 70
6-1. レンズの清掃 70
6-2. キャビネットの清掃 71
7. 付　録 72
7-1. 投写距離とスクリーンサイズ 72
7-2. 対応解像度一覧 76
7-3. 仕様 78
7-4. 外観図 80
7-5. インジケーター表示一覧 81
7-6. 故障かな？と思ったら 82
7-7. トラブルチェックシート 87
アフターサービスについて 89
使いかたのご相談など／修理のご相談など ..... 裏表紙

はじめに

このたびは、プロジェクター（本機）をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
本機は、コンピューターやブルーレイプレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。
本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。
本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買いあげの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。
本機は、日本国内向けモデルです。

● 本書で説明している機種名

XP-M401H-W
XP-M421W-W

[注意]
（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5）アプリやコンテンツサービスは、提供事業者の都合により、予告なく変更・停止・終了する場合があります。これに起因するすべての不具合や損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

2026 年 9 月　5 版
シャープ株式会社の許可なく複製・改変などはできません。

安全にお使いいただくために

レーザー光線について

クラス 1 レーザー製品

⚠ 警告

- 本製品は、レーザー製品の安全基準 JIS C 6802:2018、および IEC 60825-1:2014 においてクラス 1 に分類されています。
- 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。取扱説明書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。

【内蔵しているレーザーの概要】
・波長：449 − 461nm
・最大出力：66W

リスクグループについて

⚠ 警告

- 本製品は、IEC 62471–5:2015 規格でリスクグループ 2（RG2）に分類されています。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

電波障害に関する注意事項

この装置は、クラスＢ機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI ー B

プロジェクターに接続する HDMI ケーブルは、添付品を使用してください。
2 本目の HDMI ケーブルは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて「形名：0TJM401H01019」をお買い求めください。その他のケーブルはシールドタイプを使用してください。それ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の財産に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

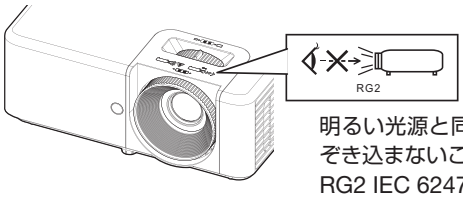
警告

プロジェクターの投写光について

禁止

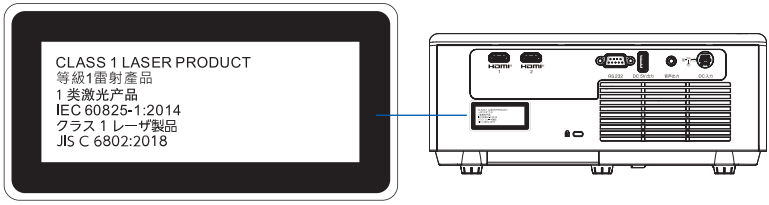
投写光と本体の表示

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
  動作中は強い光が投写されていますので、視力障害の原因となります。またレンズ近くでのレーザー光への露光は、やけどを引き起こす可能性があります。特にお子様には注意してください。
- 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。視力障害の原因になります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。
- お子様に一人でプロジェクターを操作させないでください。お子様が操作する場合は、必ず大人が付き添い、お子様から目を離さないでください。
- レンズの上のプロジェクター上面に、次ののぞきこみ禁止を表す図記号を表示しています。
  この図記号は、このプロジェクターが IEC 62471-5:2015 規格でリスクグループ 2 に分類されていることを示しています。



明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。
RG2 IEC 62471-5:2015.

- 本製品は、JIS C 6802:2018 規格と IEC 60825–1:2014 規格でクラス 1 に分類されています。
- プロジェクター本体に次のラベルを貼付しています。



- 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。取扱説明書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。

警告

電源について

国内専用

プロジェクターは日本国内専用です

- このプロジェクター、添付の AC アダプター、および電源コードは国内使用専用です。
- 日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
  またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではお受けできません。
  This product is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

必ず行う

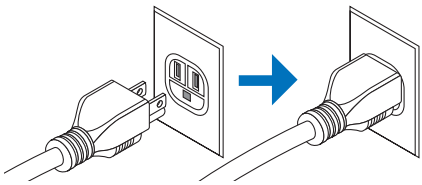
正しい電源電圧で使用する

- このプロジェクターは、交流 100 ボルト , 50/60Hz の電源で使用するように設計されています。プロジェクターを使用する前に、プロジェクターを接続する電源が要求を満たすものかを確認してください。
- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。危険ですので直接電灯線に接続しないでください。

アース線を接続せよ

アース端子に確実に接続する

- 本機は電源コードのアース端子をアースに接続することを前提に設計されている3芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3 芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。
  2 芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。詳細は 37 ページをご覧ください。
- プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。
  プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。
- アース工事は専門業者にご依頼ください。



警告


禁止

ACアダプターおよび電源コードの取り扱い

- このプロジェクターに添付しているACアダプターおよび電源コードは、このプロジェクター専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。
- ACアダプターに重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。またACアダプターを布などでくるまないでください。火災・感電の原因となります。


感電注意

- ACアダプターおよび電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
  - 添付されているもの以外のACアダプターおよび電源コードは使用しない
  - コードの上に重い物をのせない
  - コードをプロジェクターの下敷きにしない
  - コードの上を敷物などで覆わない
  - コードを傷つけない、加工しない
  - コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - コードを加熱しない

  ACアダプターおよび電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に交換をご依頼ください。


ぬれた手でさわらない

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

設置について


禁止

次のような所では使用しない

- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - 風通しや換気の悪い所
  - 直射日光のあたる所や熱器具のそば
  - 振動の多い所
  - 湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所
  - 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する所
  - 屋外

警告



水ぬれ禁止



プラグを抜く

- 温度、湿度が急激に変化し結露ができやすい所
  結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。

そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。
  またプロジェクターおよび AC アダプターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
  - 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
  - 風呂やシャワー室で使用しない
  - エアコン等水を排出する機器の近くで使用しない
  - プロジェクターおよび AC アダプターの上に花びん、植木鉢を置かない
  - プロジェクターおよび AC アダプターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

  万一プロジェクターおよび AC アダプターの内部に水などが入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に連絡してください。



注意

天吊り設置

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に相談してください。
  お客様による設置は絶対にしないでください。落下してけがの原因となります。
  プロジェクターの天吊りは、プロジェクターを吊り下げるために十分な強度を必要とし、さらに国の建築基準法に従わなくてはなりません。
  また、プロジェクター本体や天井用取付けユニットおよび取り付け場所に不具合が発生した場合を想定して、落下防止の対応が必要です。
- 設置や取り扱いが適切でない、誤使用、改造、天災などに起因する事故、損害については、当社は一切責任を負いません。
- 天吊りなどの設置をしたときは、プロジェクターにぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。
- 天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントを使用してください。

警告

使用について

禁止

プラグを抜く

内部に物を入れない

- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭では注意してください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に連絡してください。

プラグを抜く

故障したときは電源プラグを抜く

- プロジェクターおよび AC アダプターから煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、プロジェクターおよび AC アダプターを落としたりキャビネットを破損した場合は、プロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけではなく、視力障害ややけどの原因になります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解禁止

プロジェクターおよび AC アダプターの分解禁止

- プロジェクターおよび AC アダプターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
  また改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電およびレーザー光がもれることによる視力障害ややけどの原因となります。
  内部の点検・調整・修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ依頼してください。

禁止

高温注意

プロジェクターの動作中にレンズの前に物を置かない

- 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- 上記を警告するために、プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



警告	
 禁止	**プロジェクターの清掃時** ● レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。
 禁止	**極めて高い信頼性を必要とする業務に使用しない** ● 生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。

⚠注意

電源コードについて

必ず行う

電源コードの取り扱い

- 電源プラグを抜き差ししやすい場所のコンセントを使用してください。
- プロジェクターの DC 入力端子に AC アダプターを接続する際は、コネクターを奥までしっかり差し込んでください。また電源コードは壁のコンセントにしっかり差し込んでください。AC アダプターおよび電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。

必ず行う

プラグを抜く

火災や感電を防ぐために、次のことを守る

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

必ず行う

電源プラグのほこりなどは定期的に取る

- 火災・感電の原因となることがあります。

必ず行う

電源コードやケーブル類を抜いてから移動する

- コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

禁止

電源コードは、タコ足配線しない

- タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。

AC アダプターについて

禁止

AC アダプターに長時間触れない

- 本機の使用中および使用後は、AC アダプターに長時間触れないでください。やけどの原因となることがあります。
- プロジェクターの電源を切ったあと、約 30 分待って AC アダプターの温度が十分下がってから AC アダプターに触れてください。

注意

使用について

必ず行う

フォーカス、ズームの操作

- フォーカス、ズームの調整はプロジェクターの後ろまたは横から調整してください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。

必ず行う

乾電池は適切に取り扱う

- 乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂によるけがの原因となることがあります。
  - 指定以外の電池を使用しない。
  - 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる。
  - 種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。
    乾電池は種類によって特性が異なります。
  - 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
    新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
  - 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す。
    液がもれて故障の原因となるおそれがあります。
    もれた液に触れたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
    もれた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。
  - 長時間使わないときは、乾電池を取り出す。
  - 高温になる場所や気圧の低い場所に放置しない。
    破裂したり乾電池から可燃性の液やガスがもれる可能性があります。
  - 乾電池を水の中に投入したり、器具で押しつぶしたり、焼却、加熱、切断、改造しない。破裂のおそれがあります。
  - 乾電池をショートや充電をしない。
  - 乾電池を廃棄する際は、プラス（＋）とマイナス（－）をセロハンテープで絶縁して廃棄する。
    廃棄する際は販売店、または自治体に問い合わせてください。

注意

禁止

高温注意

通風口について

- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。
  プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として吸気口は 30cm 以上、排気口も 30cm 以上あけてください。
- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。

禁止

プロジェクターの持ち運び

- プロジェクターを持ち運ぶとき、次の部分に注意してください。
  - レンズ部分に手をかけないでください。フォーカスリングが回転し、プロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。

禁止

本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下がらない
硬いものでこすったり、たたいたりしない

- 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。

必ず行う

温度や湿度が急激に変化する環境での使用、保存を避ける

- 以下の使用環境・保存環境で本機をご使用、保存ください。
  守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。
  - 動作温度：0 ～ 40℃
  - 動作湿度：20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）
  - 保存温度：－ 10 ～ 50℃
  - 保存湿度：20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）

⚠注意

必ず行う

3D 映像を視聴する際の健康に関するご注意

- 健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（ブルーレイ、ゲーム、コンピューターの動画ファイルなど）および 3D メガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
- 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。
  - 3D 映像を視聴する以外の目的で、3D メガネを使用しないでください。
  - スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
  - 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
  - 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
  - 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

点検と清掃について

必ず行う

プロジェクターの点検・本体内部の清掃

- 1 年に一度くらいは内部の清掃をお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に清掃すると、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましてはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

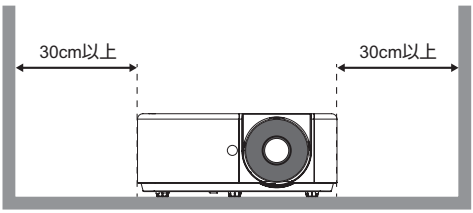
プロジェクターの性能確保のための注意事項

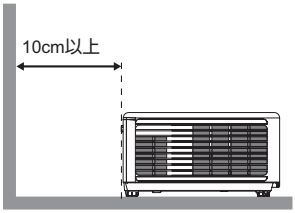
- レーザー光線のような強い光がレンズから入り込むと、故障の原因となります。
- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して使用する場合は、あらかじめ本書の裏表紙に掲載しているシャープサポートページをご確認ください。(→裏表紙)
- 標高約 762m 以上の場所でプロジェクターを使用する場合は、必ず「高地モード」を「オン」にしてください。「高地モード」を「オン」にしないと、プロジェクター内部が高温になり、故障の原因となります。
- プロジェクターを高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。
- プロジェクターの持ち運びについて
  プロジェクターおよび AC アダプターに振動や強い衝撃を与えないでください。プロジェクターおよび AC アダプターの故障の原因となります。
- チルトフットはプロジェクターの傾き調整以外の用途には使用しないでください。
  チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
  投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写レンズ面には手を触れないでください。
- 投写中に電源コードを抜かないでください。プロジェクターの DC 入力端子、AC アダプターの AC 入力端子、および電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、ブレーカーなどを利用してください。
- リモコンの取り扱いについて
  - リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
  - リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
  - 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
  - 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
  - 誤動作防止のために、エアコンやステレオコンポなど他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。
  - 他の機器のリモコンによる影響が懸念される場合は、他の機器においてリモコンの識別 ID（コントロール ID）を設定するなどして誤動作を防止してください。
  - 本体から約 6m 以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
  - リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
  - リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
  - できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
  - 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を 2 本とも取り出してください。

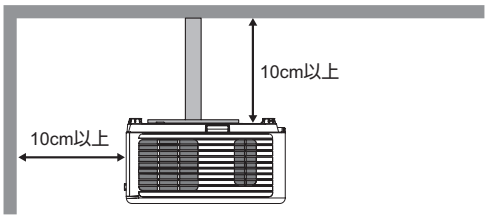
- スクリーンへの外光対策をしてください。
  スクリーンには、照明などプロジェクター以外からの光が入らないようにしてください。外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
  ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

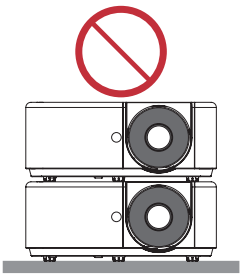
設置する際の周囲との距離についての注意

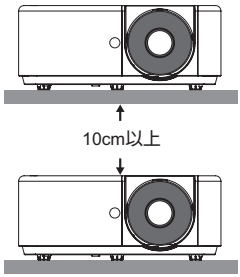
プロジェクターを設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。プロジェクターから出た高温の排気が再びプロジェクターに吸気される場合があります。
また、エアコンから吹き出された風がプロジェクターに当たらないようにしてください。プロジェクターの温度制御で異常（温度エラー）を感知して自動的に電源が切れることがあります。



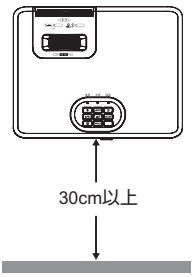


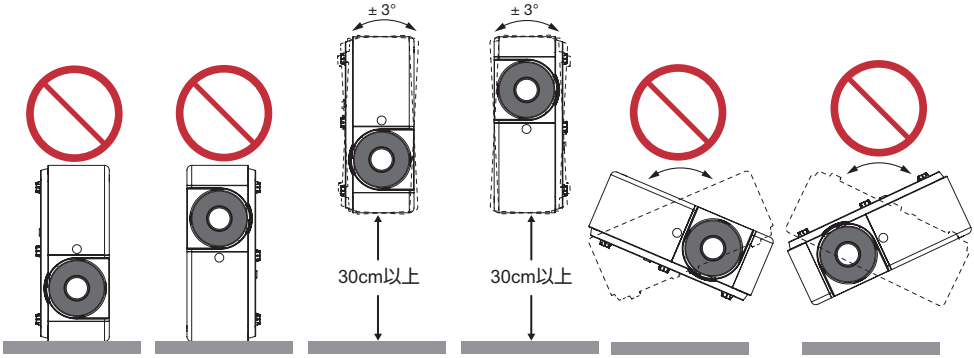




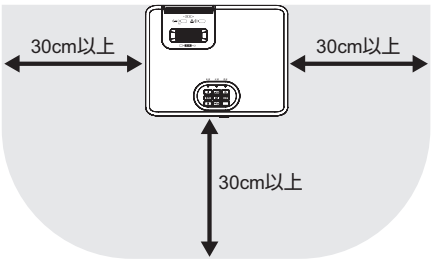








プロジェクターの周囲30cm以内にACアダプターを置かないでください。プロジェクターの排気によって、AC アダプターが高温になります。



設置や保管についての注意事項

●次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。

- 振動や衝撃が加わる場所
  動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、プロジェクターに振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
- 高圧電線や動力源の近く
  妨害を受ける場合があります。
- 強い磁界が発生する場所
  故障の原因となります。
- 屋外および湿気やほこりの多い場所
  油煙や湯気の当たるような場所
  腐食性のガスが発生する場所
  キャビネットに油や薬品、水分などが付着した場合、キャビネットの変形またはひび割れ、金属部分の腐食、および故障の原因となります。

● 設置業者様へ

本機を設置する際は、以下の事項にご注意ください。

① 落下防止のためプロジェクターおよび天井取付けユニット（市販の天吊り金具）の荷重に長期間耐えるようにしてください。

② 設置は、天井取付けユニットの取扱説明書に従って、正しく確実に作業してください。所定のネジや固定金具はすべて確実に取り付けてください。

③ 落下防止のために落下防止ワイヤーを使用してください。

- 市販の金具などを用いて建物や構造物の丈夫な箇所とプロジェクターのセキュリティバーを落下防止ワイヤーで接続してください。
- 市販の金具や落下防止ワイヤーはプロジェクターおよび天井取付けユニットの荷重に耐えられるように十分強度のある物をご使用ください。
- 落下防止ワイヤーはプロジェクターに負荷をかけないように、少したるませるように設置してください。
- セキュリティバーの位置については、26 ページをご覧ください。

④ AC アダプターを宙吊り状態にしないでください。
AC アダプターを宙吊り状態にすると、AC アダプターの重みで電源コードの接続がゆるんだり AC アダプターが落下する原因となることがあります。
AC アダプターは、天井裏や天井取付けユニットなどに固定して落下防止対策をしてください。

廃棄について

本機を廃棄する際は、お買いあげの販売店、または自治体にお問い合わせください。

個人情報の初期化について

本機を廃棄または譲渡する際は、オンスクリーンメニューの「設定」→「リセット」を実行して、設定の初期化をしてください。
なお、「リセット」を実行しても「言語」および「セキュリティ」の設定は初期化されません。セキュリティの設定を変更している場合は、お客様ご自身で、本機の工場出荷時の設定に戻すことをおすすめします。

セキュリティの工場集荷時の設定	セキュリティ	オフ
	セキュリティパスワード	1234
	セキュリティタイマー	月：0、日：0、時：0

投写する映像の著作権について

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、プロジェクターを使って映像を投写する場合、プロジェクターの機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

オートパワーオフ機能についてのお知らせ

本機は、工場出荷時にオートパワーオフを 15 分に設定しています。入力信号がなく、また本機を操作しない時間が 15 分続いた場合、消費電力を抑えるために、本機の電源が自動的に切れます。外部機器から制御する場合は「オフ（0 分）」に変更してください。
詳しくは、65 ページをご覧ください。

商標について

- DLP® 、DLP ロゴ、Brilliant Color™、DLP® Link™ は、Texas Instruments の登録商標または商標です。
- Apple、Mac、MacBook は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI®、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

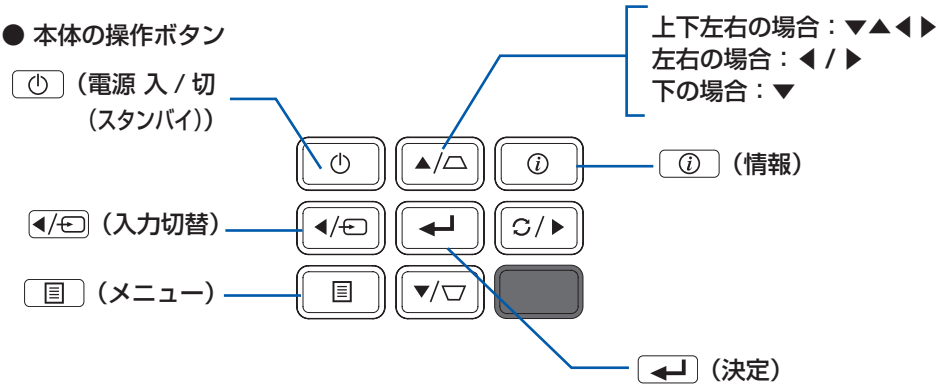
本書の表記について

マークの意味

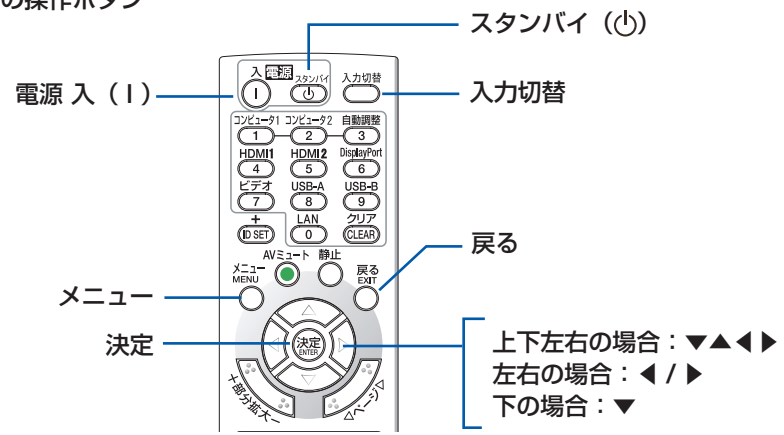
[重要]	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
[注意]	注意や制限事項を表しています。
[参考]	補足説明や役立つ情報を表しています。
適応機種	機種によって異なることを表しています。
→ 00 ページ	本書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例

● 本体の操作ボタン



● リモコンの操作ボタン



[参考]

● 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 製品概要、添付品、名称を確認する

1-1. 特長

■ 全般

● DLP® 方式の高輝度・高解像度プロジェクター

機種名	明るさ	解像度	アスペクト比
XP-M401H-W	4000lm ／ 4400lm（センター）	2K FHD （1920 × 1080 ドット）	16：9
XP-M421W-W	4200lm ／ 4600lm（センター）	WXGA （1280 × 800 ドット）	16：10

● 小型、軽量
本体寸法：278（幅）× 115.5（高）× 216（奥行）mm（突起部を含む）、本体質量：約 3kg。

■ 光源・輝度

● 長寿命レーザー光源を採用
レーザー光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。

● 幅広い輝度調整が可能
ランプとは異なり、出力を 100% から 40% まで 5% 刻みで調整することができます。

■ 設置

● 垂直方向 360˚ の設置、ポートレート投写が可能
本機は、垂直方向 360˚ のどの角度でも設置が可能です。
本機を傾けて設置する場合は、十分な強度のある金具を使用してください。
また、投写画面を 90˚ 傾けたポートレート投写ができます。必ず専用のスタンドを制作して設置してください。

● 垂直および水平方向の台形補正機能、垂直方向の自動台形補正機能
本機は、垂直および水平方向の台形補正機能に加え、投写画面の 4 つの角（左上、右上、右下、左下）の位置を調整するコーナー補正機能を搭載しています。
さらに、本体の傾きを感知して自動的に台形補正をすることができます。なお、本機の工場出荷時、自動台形補正機能は「オフ」に設定されています。

● 8 ワットのモノラルスピーカー内蔵
会議室や教室で視聴していただけるように、8 ワットのモノラルスピーカーを内蔵しています。

● HDMI CEC（Consumer Electronics Control）に対応
本機を含むHDMI ケーブルで接続している機器間で、電源のオン／オフを連動できます。

■ 映像

● HDMI 2 系統の入力端子
HDMI 2 系統の入力端子を装備しています。
本機の HDMI 入力端子は HDCP に対応しています。

● DLP® Link 方式の 3D 映像に対応
3D 方式は、DLP® Link 方式に対応。液晶シャッターメガネ方式と言われる 3D 方式の１つです。スクリーンに左目用の画像と右目用の画像を高速に交互に投写し、専用の液晶シャッターメガネを使って視聴します。DLP® Link 方式の液晶シャッターメガネは、左目用の画像と右目用の画像に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光し画像が切り替わるタイミングと同期することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。

■ 省エネ

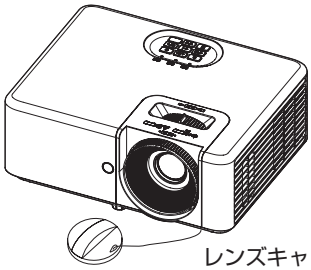
● スタンバイ時の消費電力が 0.5 ワットの省エネ設計

● 動作中の消費電力を抑えるエコモード
オンスクリーンメニューの「ライトモード」を「エコ」に設定すると、光源の輝度を約 70% に下げて消費電力を抑えることができます。

● 設定した時間内に信号入力がない場合に、自動的に電源をオフ
オンスクリーンメニューの「オートパワーオフ」において設定した時間内（工場出荷時は「15 分」に設定）に信号入力がない場合に、自動的に電源をオフにして消費電力を抑えることができます。

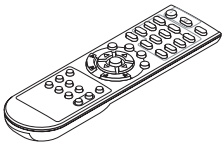
1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。



レンズキャップ

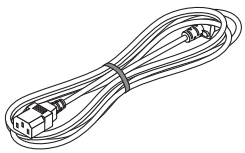
プロジェクター（本機）



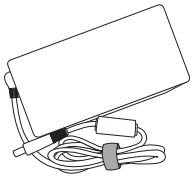
リモコン



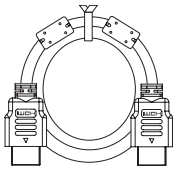
単 4 形マンガン乾電池
× 2 本（リモコン用）



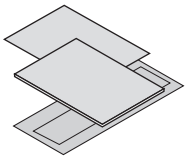
電源コード（3 芯タイプ）
1.8m



AC アダプター



HDMI ケーブル
（形名：0TJM401H01019）



重要なお知らせ

クイックスタートガイド

天吊り設置時の注意事項

保証書

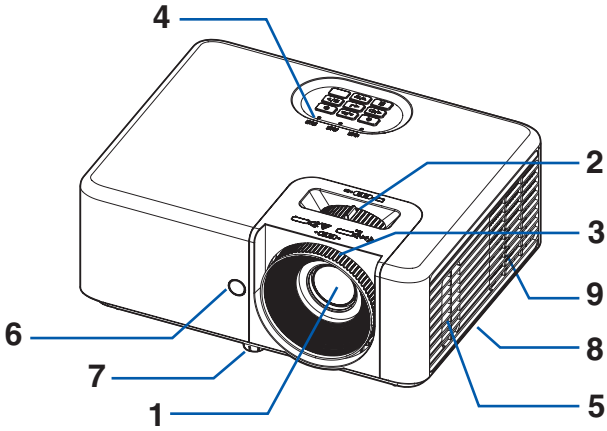
お客様ご相談窓口のご案内

[参考]

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前部



1 レンズ
ここから映像が投写されます。

2 ズームレバー
投写した画面の大きさを調整します。(→ 45 ページ)

3 フォーカスリング
映像のフォーカスを合わせます。(→ 45 ページ)

4 インジケーター
インジケーターは、本機の動作状態を知らせます。(→ 29 ページ , 81 ページ)

5 スピーカー（モノラル）
HDMI1/2 入力端子から入力された音声を出します。(→ 48 ページ)

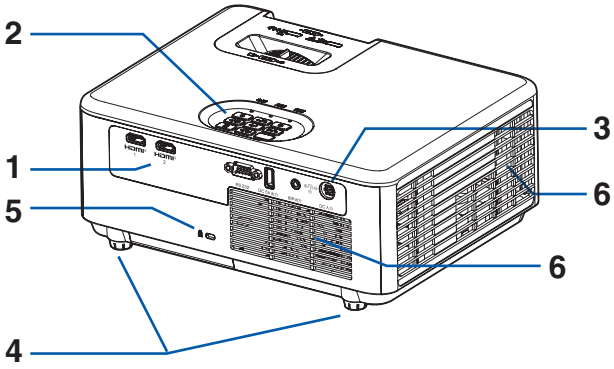
6 リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。本体の前面と上面の 2 箇所にあります。(→ 34 ページ)

7 チルトフット
チルトフットを回してプロジェクターの上下の傾きを調整します。(→ 46 ページ)

8 セキュリティバー
本機のセキュリティバーは、直径 約 5mm の太さのものまで対応しています。
セキュリティケーブル（またはワイヤー）を取り付けます。

9 排気口
内部の熱を排気します。

本体後部



1 接続端子部
各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。（→ 30 ページ）

2 本体操作部とリモコン受光部
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
リモコン受光部は、リモコンの信号を受ける部分です。（→ 次ページ）

3 DC 入力 端子
添付の AC アダプターを接続します。（→ 38 ページ）

4 リアフット
プロジェクターの左右の傾きを調整します。（→ 46 ページ）

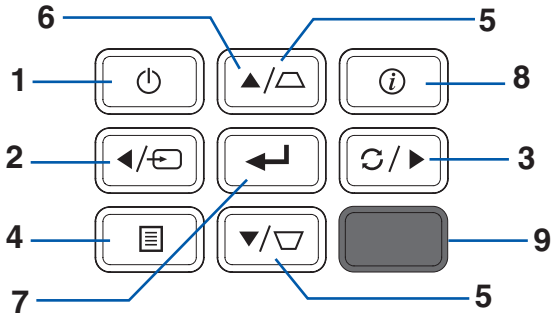
5 セキュリティスロット（ ）
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは下の［参考］をご覧ください。

6 吸気口
外気を取り込み本体内部を冷却します。

[参考]

- **セキュリティスロットについて（ ）**
  セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

本体操作部



1 [⏻]（電源）ボタン
本機の電源を入／切（スタンバイ状態）します。
電源を切る（スタンバイ状態にする）ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度 [⏻] ボタンを押します。

2 [◀/⏎]（入力切替）ボタン
オンスクリーンメニューを表示していないときに押すと、入力端子画面を表示します。

3 [↻/▶]（再同期）ボタン
オンスクリーンメニューを表示していないときに押すと、入力信号の再同期をします。

4 [▤]（メニュー）ボタン
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。（→ 52 ページ）
オンスクリーンメニューを表示しているときは、メニューを消します。

5 [▲/△] / [▼/▽]（垂直台形補正）ボタン
オンスクリーンメニューを表示していないときに押すと、垂直方向の台形歪みを調整できます。（→ 47 ページ）

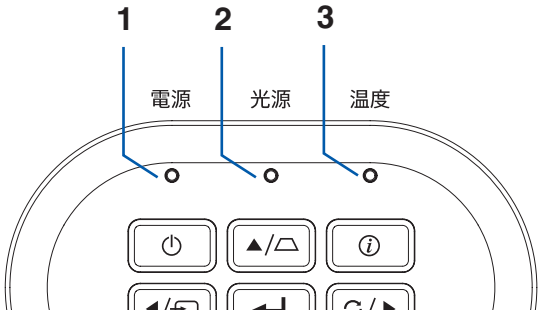
6 ▼▲◀▶ ボタン
オンスクリーンメニューを表示しているときに▼▲◀▶ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。

7 [↵]（決定）ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進み、選択項目を決定します。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

8 [ⓘ]（情報）ボタン
情報画面を表示します。

9 リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。（→ 34 ページ）

インジケーター



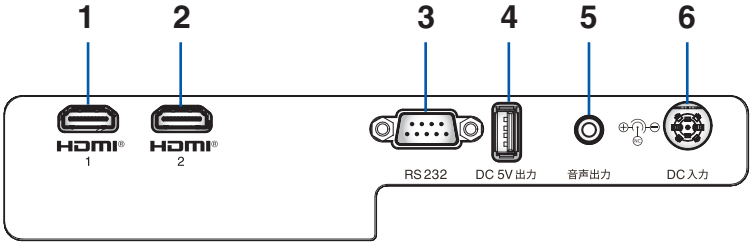
1 電源 インジケーター
本機の電源の状態を表すインジケーターです。
電源が入っているときは青色に点灯します。
スタンバイ時は、赤色で点灯します。

2 光源 インジケーター
光源の異常をお知らせします。

3 温度 インジケーター
温度の異常をお知らせします。

[参考]
- 詳しくは「インジケーター表示一覧」をご覧ください。(→ 81 ページ)

接続端子部



1 HDMI 1 入力端子（タイプ A）

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。
本機のスピーカーから出力される音声はモノラルです。

2 HDMI 2 入力端子（タイプ A）

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。
本機のスピーカーから出力される音声はモノラルです。

3 RS 232 端子（D-Sub 9 ピン）

コンピューターから本機を操作するときに使用します。

4 USB ポート（タイプ A）

本機の電源が「入」状態のとき、5.0V / 1.5A の電源を供給します。

5 音声出力端子（ステレオ・ミニ）

本機から投写されている映像の音声信号を出力します。

- 本機の音声出力端子は、ヘッドホン用端子ではありません。
- 本機の音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカーから音声が出なくなります。

6 DC 入力 端子

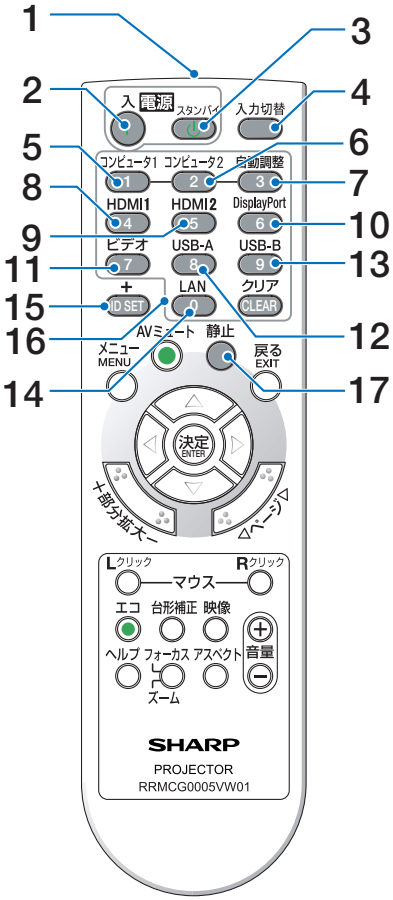
AC アダプターを接続します。

[参考]

- 本機の HDMI 入力端子の HDCP のバージョンは以下のとおりです。

機種名	HDMI 1 入力端子	HDMI 2 入力端子
XP-M401H-W	HDCP 2.3	HDCP 1.4
XP-M421W-W	HDCP 1.4	HDCP 1.4

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部
赤外線によるリモコン信号が送信されます。
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 電源入（I）ボタン
スタンバイ時（電源インジケーターが赤色で点灯）に本機の電源を入れます。

3 電源スタンバイ（⏻）ボタン
一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度スタンバイ ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

4 入力切替ボタン
入力端子画面を表示します。

5 コンピュータ 1 ボタン
（本機では使用できません）

6 コンピュータ 2 ボタン
（本機では使用できません）

7 自動調整 ボタン
入力信号の再同期をします。

8 HDMI 1 ボタン
HDMI 1 入力を選択します。

9 HDMI 2 ボタン
HDMI 2 入力を選択します。

10 DisplayPort ボタン
（本機では使用できません）

11 ビデオボタン
（本機では使用できません）

12 USB-A ボタン
（本機では使用できません）

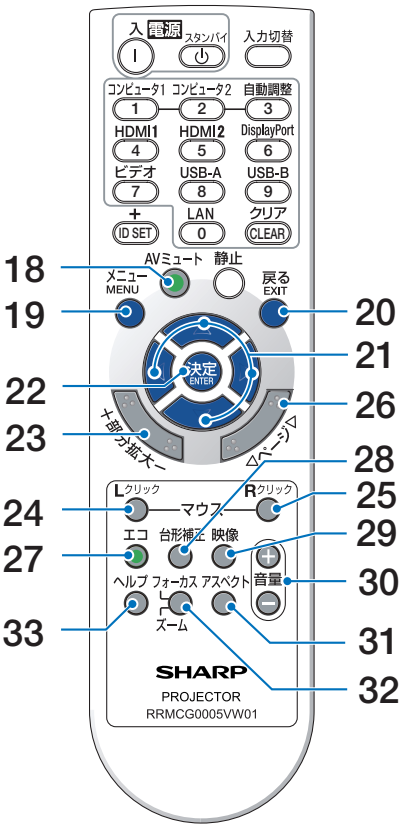
13 USB-B ボタン
（本機では使用できません）

14 LAN ボタン
（本機では使用できません）

15 ID SET ボタン
（本機では使用できません）

16 数字（0 ～ 9）入力ボタン
（本機では使用できません）

17 静止ボタン
表示されている画像が静止画になります。もう一度押すと戻ります。



18 AV ミュートボタン
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。

19 メニューボタン
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

20 戻るボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

21 ▼▲◀▶ボタン
オンスクリーンメニュー操作などに使用します。

22 決定ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

23 部分拡大 ＋ / －ボタン
画面の拡大・縮小（もとに戻す）をします。部分拡大画面表示中は ◀ / ▶ ボタンでも拡大・縮小（もとに戻す）ができます。

24 マウス L クリックボタン
（本機では使用できません）

25 マウス R クリックボタン
（本機では使用できません）

26 ページ ▽ / △ボタン
（本機では使用できません）

27 エコボタン
ライトモード画面を表示します。

28 台形補正ボタン
台形補正画面を表示します。（→ 47 ページ）

29 映像ボタン
ピクチャーモード画面を表示します。

30 音量 ＋ / －ボタン
内蔵スピーカーの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。

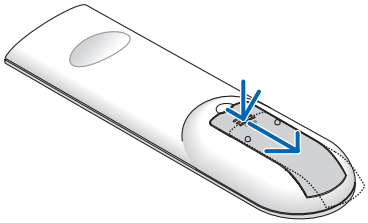
31 アスペクトボタン
アスペクト画面を表示します。

32 フォーカス / ズームボタン
（本機では使用できません）

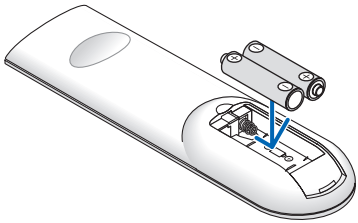
33 ヘルプボタン
情報画面を表示します。

電池の入れかた

1. リモコン裏面の電池ケースのふたを押したまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

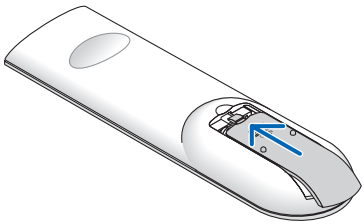


2. ケース内部に表示している＋、－の向きに合わせて単 4 形のアルカリまたはマンガン乾電池をセットする。



3. もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがありますので、スライドさせて閉めてください。



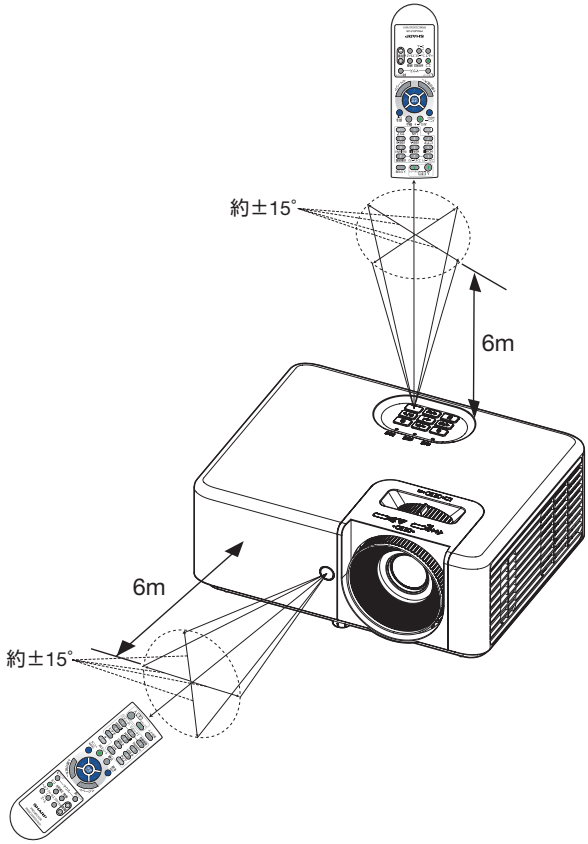
[注意]

- 乾電池を交換するときは、2 本とも同じ種類（アルカリまたはマンガン）の単 4 形乾電池をお買い求めください。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

受光範囲



（注）有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

[注意]

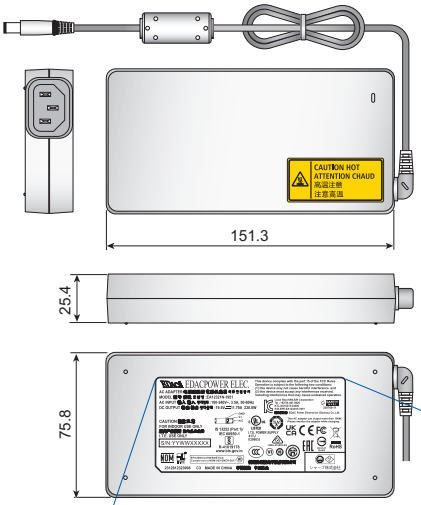
- リモコンの使用上の注意事項は、17 ページをご覧ください。

1-5. AC アダプター

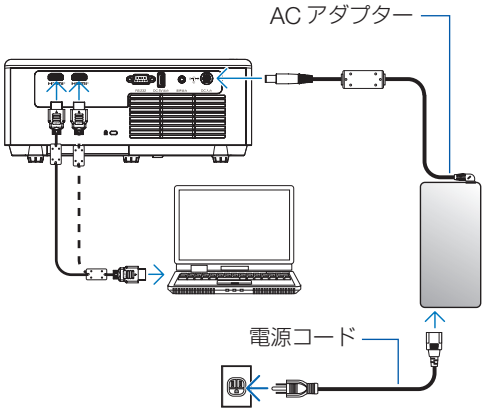
仕様	AC 入力	100 – 240V AC, 3.5A, 50 – 60Hz
	DC 出力	19.5V DC, 11.79A
	ケーブルの長さ	1.2m

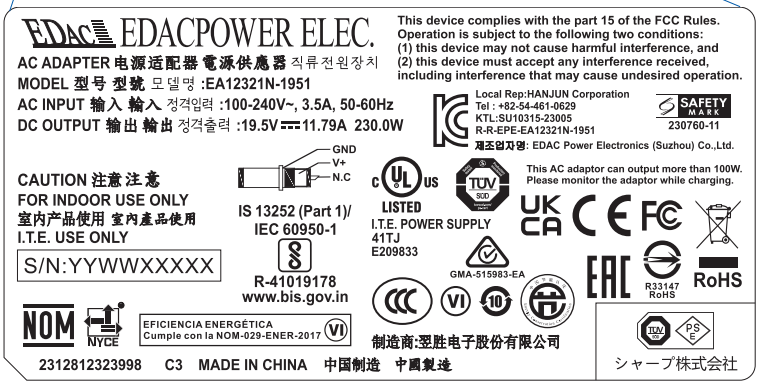
【 外形寸法 】

単位 : mm



【 接続図 】





2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ *1*	コンピューターと接続する／ AC アダプターおよび電源コードを接続する（→次ページ）
ステップ *2*	本機の電源を入れる（→ 39 ページ）
ステップ *3*	入力信号を選択する（→ 42 ページ）
ステップ *4*	投写画面の位置と大きさを調整する（→ 44 ページ） 台形歪みを調整する（→ 47 ページ）
ステップ *5*	本機の音量を調整する（→ 48 ページ）
ステップ *6*	プレゼンテーションをする
ステップ *7*	本機の電源を切る（→ 49 ページ）
ステップ *8*	移動するときは（→ 49 ページ）

2-2. コンピューターと接続する／ AC アダプターおよび電源コードを接続する

1. コンピューターと接続する。

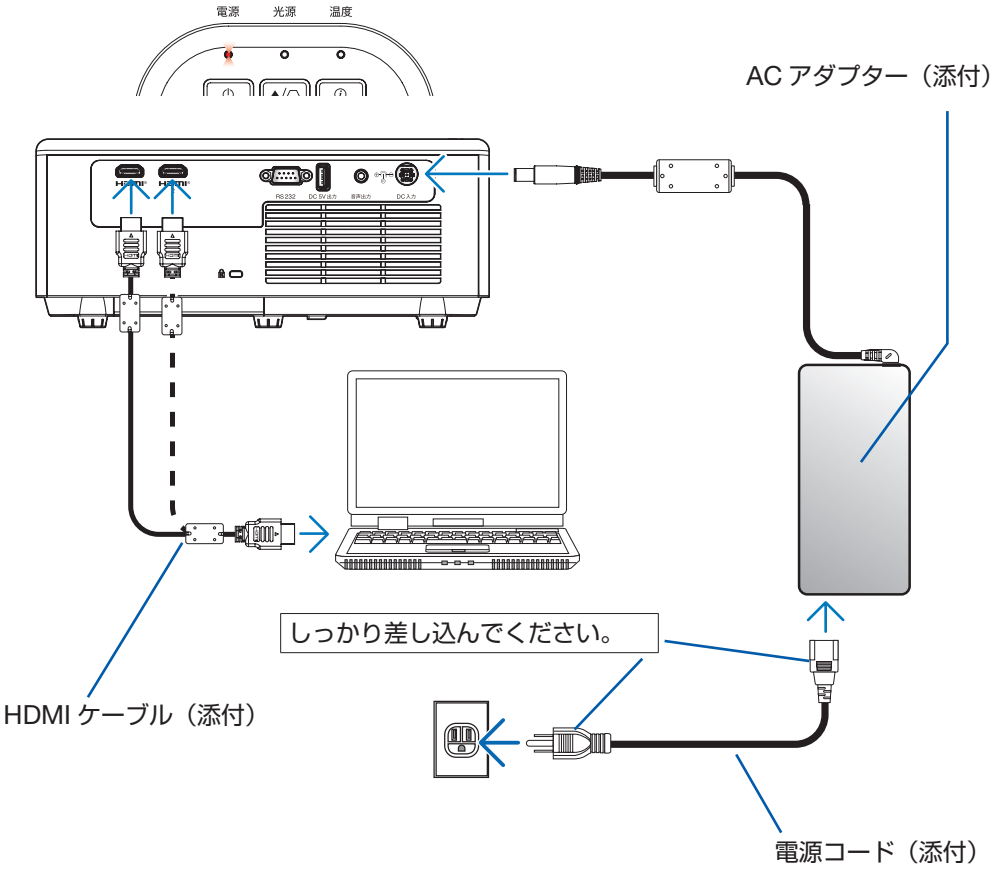
ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「5. 機器と接続する」→ 69 ページをご覧ください。
コンピューター側のディスプレイ出力端子（HDMI OUT）と、本機の HDMI 1 入力端子を、添付の HDMI ケーブルで接続します。

2. AC アダプターおよび電源コードを接続する。

添付の AC アダプターおよび電源コードを使って、コンセントに本機を接続します。
① AC アダプターと電源コードを接続する。
② AC アダプターのコネクターを本機の DC 入力 端子に差し込む。
③ 電源コードのプラグを AC100V の 3 芯コンセント（アース工事済み）に差し込む。

警告	● 本機は電源コードのアース端子をアースに接続することを前提に設計されている 3 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3 芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。 2 芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。 ● プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。 プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。 ● アース工事は専門業者にご依頼ください。 ● 電源コードを AC アダプターおよび 3 芯コンセントに接続するときは、コネクターやプラグを奥までしっかり差し込んでください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。

本機に電源が供給されると、本機の電源インジケーターが赤色で点灯し、本機がスタンバイ状態になります。

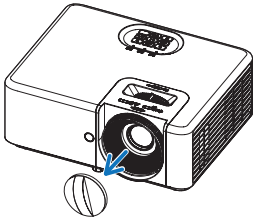


⚠ 注意	● 電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。 ● 本機の使用中および使用後は、AC アダプターに長時間触れないでください。やけどの原因となることがあります。 ● プロジェクターの電源を切ったあと、約 30 分待って AC アダプターの温度が十分下がってから AC アダプターに触れてください。

2-3. 本機の電源を入れる

警告	プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

1. レンズキャップを取り外す。

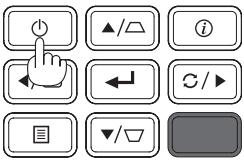


2. ⏻ ボタンを押す。

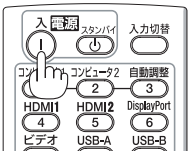
電源インジケーターが青色に点灯し、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、電源入ボタン（I）を押します。
- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます。
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。（→ 45 ページ）

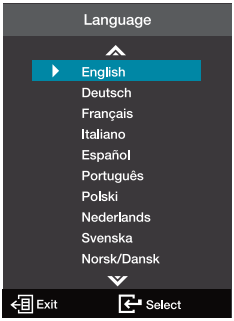
プロジェクター本体



リモコン



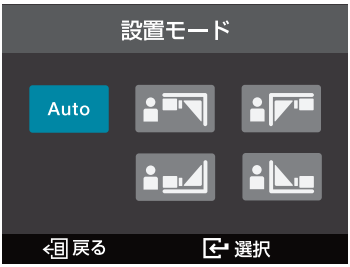
ご購入後、はじめて本機の電源を入れると、最初に言語選択メニューが表示され、そのあと設置モード画面が表示されます。



1. ▼/▲ボタンを押して「日本語」にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押す。



設置モードを選択する画面が表示されます。
設置モード画面は、正面投写、リア投写、床置き設置、天吊り設置の組み合わせ、およびAuto（床置き設置／天吊り設置）から選択します。（→ 64 ページ）



2. そのまま 決定 ボタンを押す。

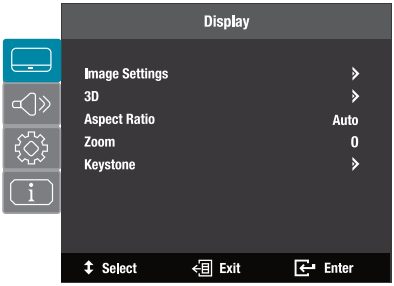
[注意]

- 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり変形します。また、動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
  さらに、反射した光でプロジェクターのレンズが高温になり、レンズが変形することがあります。
  投写中に一時的に画面を消す場合は、リモコンの「AV ミュート」ボタンを押してください。再び画面を表示する場合は、もう一度「AV ミュート」ボタンを押してください。
- 次のような場合は、[⏻] ボタンを押しても電源が入りません。
  - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。

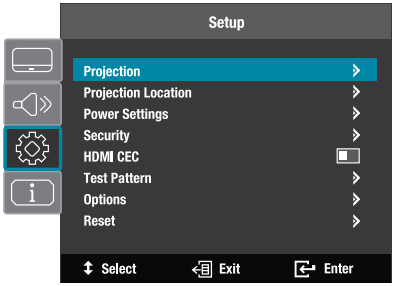
[参考]

- 本機のメニューやメッセージが「日本語」以外で表示されているときは、以下のように操作して「日本語」に変更してください。
  以下は、「英語」から「日本語」に変更する場合です。

① リモコンまたは本体操作部の メニュー ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが表示されます。

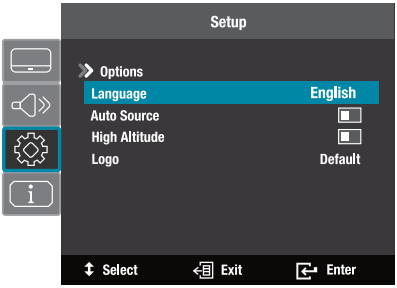


② ▲ / ▼ ボタンを押して「Setup」アイコンにカーソルを合わせ、決定 ボタンまたは▶ボタンを押す。
「Setup」メニューが表示されます。



③ ▲ / ▼ ボタンを押して「Options」にカーソルを合わせ、決定 ボタンまたは▶ボタンを押す。
「Options」メニューが表示されます。

④「Language」にカーソルが合っていることを確認し、決定 ボタンまたは▶ボタンを押す。
表示言語一覧が表示されます。



⑤ ▲ / ▼ ボタンを押して「日本語」にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押す。
「オプション」メニューに戻ります。

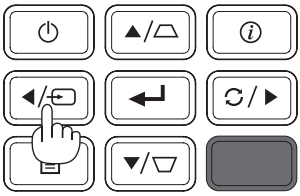
2-4. 入力信号を選択する

入力切替ボタンを押して選択する

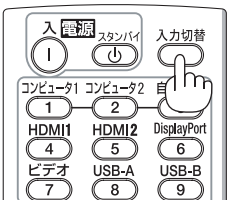
1. **本機に接続しているコンピューターや DVD プレーヤーなどの電源を入れる。**
   DVD プレーヤーなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

2. **◀/↩（入力切替）ボタンを押す。**
   入力端子画面が表示されます。

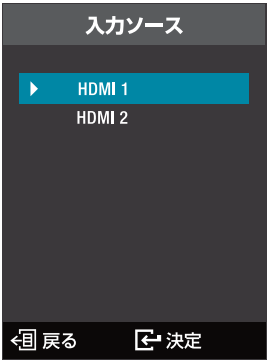
プロジェクター本体



リモコン



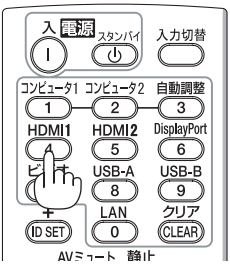
3. **▼/▲ボタンを押して投写する端子にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押す。**



リモコンの HDMI1 または HDMI2 ボタンを押して選択する

1. **本機に接続しているコンピューターや DVD プレーヤーなどの電源を入れる。**
   DVD プレーヤーなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

2. **リモコンの HDMI 1 または HDMI 2 ボタンを押す。**



[参考]

- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます。
  DVD プレーヤーなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピューターの画面がうまく投写できない場合
  ノートブックコンピューターの外部出力（モニター出力）設定を外部に切り替えてください。
  - Windows のノートブックコンピューターの場合は、[Fn] キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

  【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] ＋ [F5]	Dynabook
[Fn] ＋ [F8]	DELL

  ※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

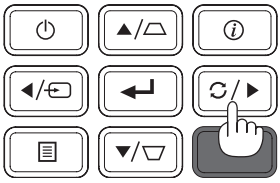
  - Apple MacBook は、ビデオミラーリングを設定します。
  - それでも投写しない場合は入力端子を再度選択してください。（→ 前ページ）

2-5. 入力信号の再同期をする

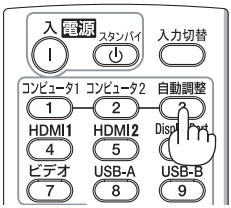
入力信号を認識しない場合は、再同期（自動調整）ボタンを押してみてください。

1. 本体の⟳/▶（再同期）ボタンまたはリモコンの自動調整ボタンを押す。

プロジェクター本体



リモコン



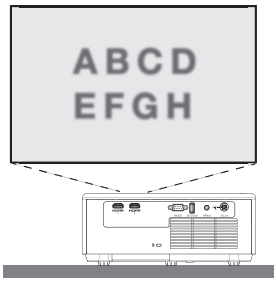
[参考]

- 信号によっては、表示に時間がかかる場合がります。また、正しく表示されない場合があります。
- コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、85 ページを参照してください。

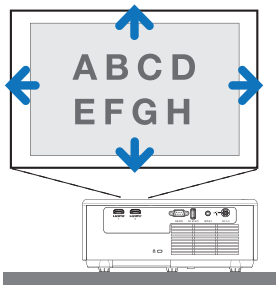
2-6. 投写画面の位置と大きさを調整する

フォーカス、ズーム、チルトフットなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

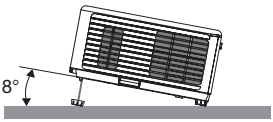
投写画面のフォーカス調整
【フォーカスリング】（→ 次ページ）



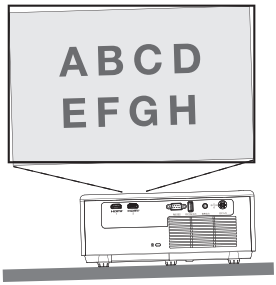
投写画面の大きさの調整
【ズームレバー】（→ 次ページ）



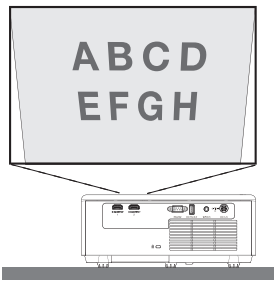
投写画面の高低の調整
【チルトフット】（→ 46 ページ）



投写画面の左右の傾き調整
【リアフット】（→ 46 ページ）



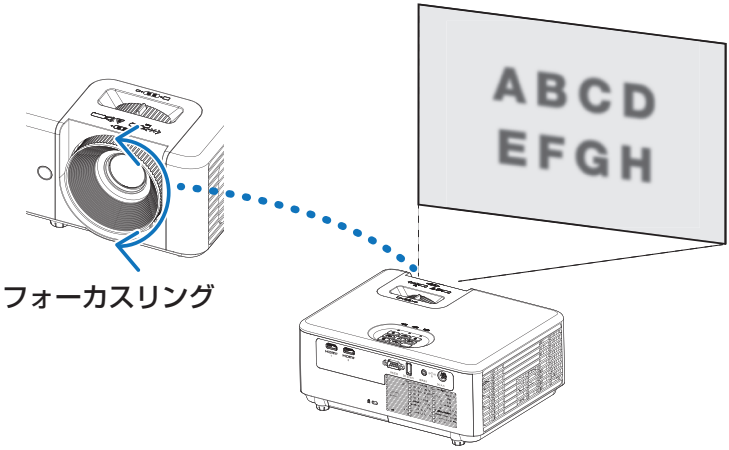
投写画面の台形歪み補正
【台形補正（垂直）】（→ 47 ページ）



※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

1. フォーカスリングを左右に回してピントを合わせる。

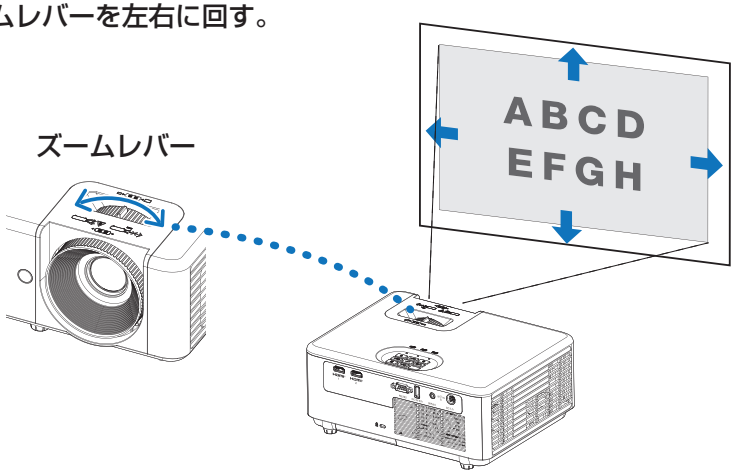


[注意]

- フォーカスを調整するときは、投写した画面全体を見ながらバランスよく調整してください。投写した画面の中央だけにフォーカスを合わせると、周辺がぼやけることがあります。

投写画面の大きさの調整（ズームレバー）

1. ズームレバーを左右に回す。

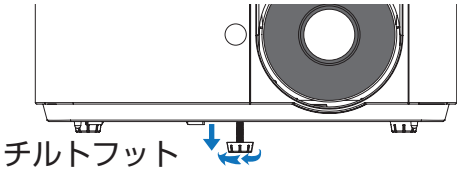


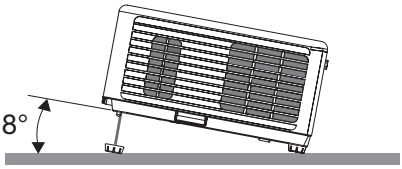
投写画面の高低の調整（チルトフット）

1. プロジェクター前部の中央にあるチルトフットを回して調整する。

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。
投写画面の高低は左と右のチルトフットを回して高さ調整をします。
投写画面が傾いているときは、どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

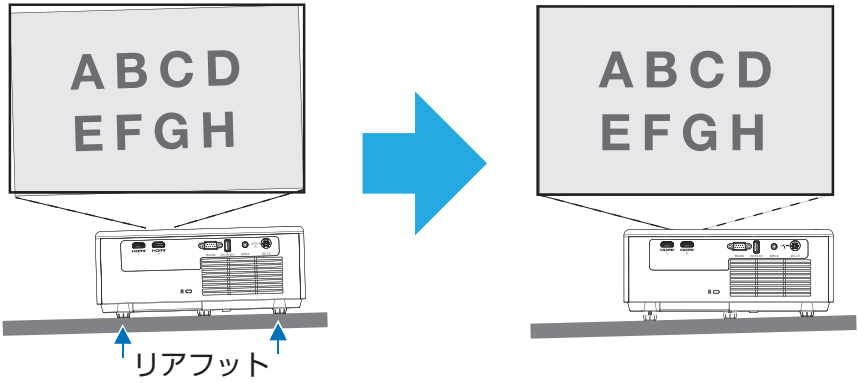
- 投写画面が歪んでいるときは「2-7. 台形歪みを調整する（台形補正（垂直））」をご覧ください。
- チルトフットは、最大 28mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を最大約 8° 傾けることができます。





投写画面の左右の傾き調整（リアフット）

1. プロジェクター後部の左右にあるリアフットを回して調整する。

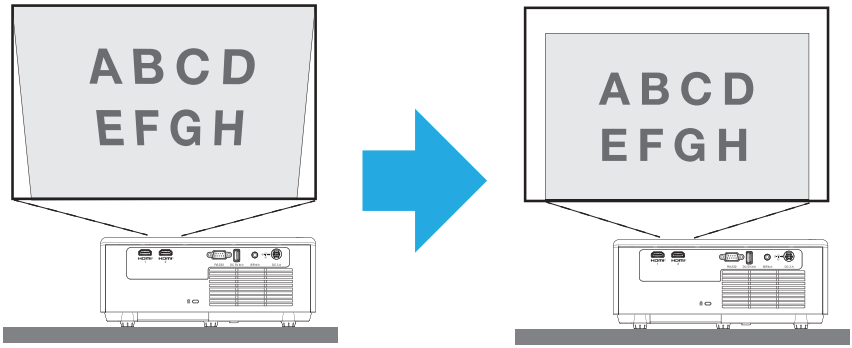


[注意]

- チルトフットの調整中は排気口に触れないでください。プロジェクターがオンになっている 、またオフになったあとも熱くなっている可能性があります。
- チルトフットは 28mm 以上伸ばさないでください。28mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。
  チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

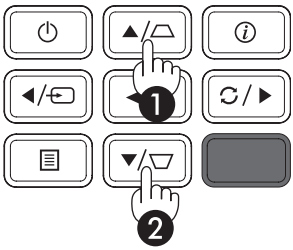
2-7. 台形歪みを調整する（台形補正（垂直））

台形補正機能を使用すると、投写画面の台形歪みを調整できます。
ここでは垂直方向の台形歪みの調整方法を説明します。
このほかの台形補正機能については、61 ページをご覧ください。



本体の操作ボタンを使用する

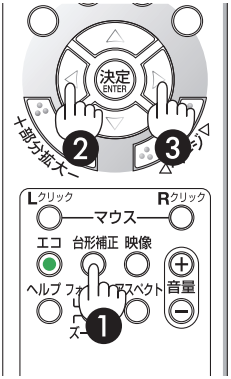
1. ▲/△ / ▼/▽ ボタンを押す。



リモコンを使用する

1. 台形補正 ボタンを押す。

2. ◀ / ▶ボタンを押す。



2-8. 本機の音量を調整する

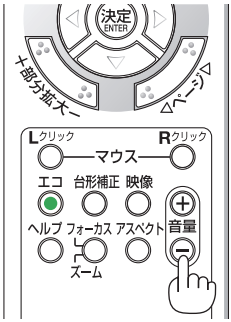
本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

リモコンを使って調整する

1. リモコンの音量 ＋ / －ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

＋側	音量が大きくなります。
－側	音量が小さくなります。



- 音声調整バーが表示されているときは、◀ / ▶ ボタンでも音量を調整できます。

オンスクリーンメニューを表示して調整する

1. メニュー ボタンを押す。

2. ▲ / ▼ ボタンを押して、「オーディオ」アイコンを選択し、決定 ボタンまたは▶ボタンを押す。

「オーディオ」メニューが表示されます。



3. ▲ / ▼ ボタンを押して、「音量」を選択し、決定 ボタンまたは▶ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

4. ◀ / ▶ ボタンを押す。

音量を調整します。

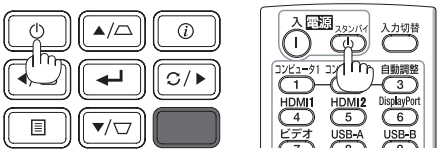


[参考]

- 「ミュート」については、63 ページをご覧ください。

2-9. 本機の電源を切る

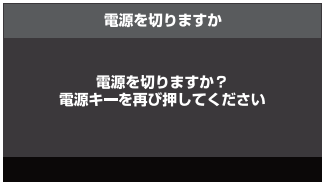
プロジェクター本体　　リモコン



1. ⏻ **ボタンを押す。**

- リモコンで操作する場合は、電源スタンバイ（⏻）ボタンを押します。

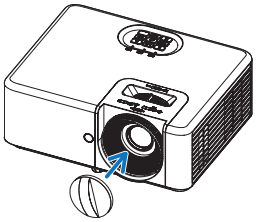
画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。



2. もう一度 ⏻ **ボタンを押す。**

光源が消灯し、電源が切れます。（スタンバイ状態）

- リモコンで操作する場合は、もう一度電源スタンバイ（⏻）ボタンを押します。
- スタンバイ状態になると、電源インジケーターが赤色で点灯します。
- 電源を切らない場合は、確認メッセージが消えるまで待ちます。



3. レンズキャップを取り付ける。

注意	● 電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。 ● 本機の使用中および使用後は、AC アダプターに長時間触れないでください。やけどの原因となることがあります。 ● プロジェクターの電源を切ったあと、約 30 分待って AC アダプターの温度が十分下がってから AC アダプターに触れてください。

[注意]

- 投写中に電源コードを抜かないでください。プロジェクターの DC 入力端子、AC アダプターの AC 入力端子、および電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、ブレーカーなどを利用してください。
- 各種の調整をして調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

2-10. 移動するときは

1. AC アダプターおよび電源コードを取り外す。

2. 各種信号ケーブルを取り外す。

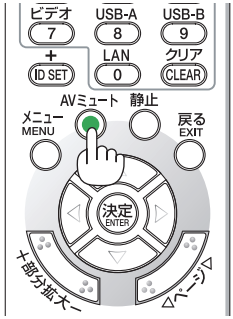
3. 便利な機能

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）

1. リモコンの AV ミュートボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカーおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

- もう一度 AV ミュートボタンを押すと、映像と音声が出ます。
- AV ミュート中は、画面の右上にアイコンが表示されます。





[参考]

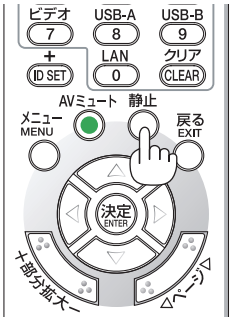
- 音声出力端子（ステレオミニ）からの音声もオフにできます。

3-2. 動画を静止画にする（静止）

1. リモコンの静止ボタンを押す。

DVD プレーヤーの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度静止ボタンを押すと、動画に戻ります。
- 静止中は、画面の右上にアイコンが表示されます。





[参考]

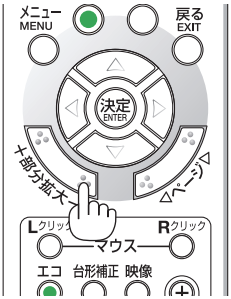
- 静止画にすると、そのときに投写されていた映像を本機のメモリーに保存し、メモリー内の映像（静止画）を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤーなどの映像再生は先に進行しています。

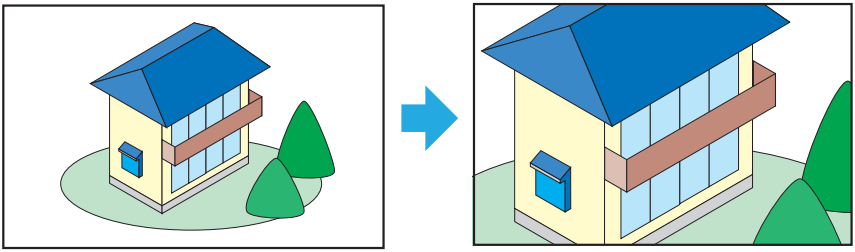
3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

1. リモコンの部分拡大 ＋ / －ボタンを押す。

押すごとに映像が画面中央を中心にして拡大および縮小します。

- 拡大は最大 2 倍まで、縮小は約 80% までできます。





[注意]

- 信号によっては、2 倍まで拡大できない場合があります。

4. オンスクリーンメニュー

4-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して調整および設定します。以降「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

4-1-1. オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するにはプロジェクター本体の［目］（メニュー）ボタンまたはリモコンのメニューボタンを押します。また、メニューを消す場合は、［目］（メニュー）ボタンまたはリモコンの戻るボタンを押します。
ここではメニューの見かたや操作方法について説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1. ［目］（メニュー）ボタンまたはリモコンのメニューボタンを押す。

- カーソルがメインメニューにあるとき、［目］（メニュー）ボタンまたはリモコンの戻るボタンを押すと、メニューが消えます。

2. ▼ / ▲ ボタンを押す。

- メインメニューアイコンにカーソルが移動します。
- メインメニューアイコンが変わると、サブメニューも変わります。

	調整
	オーディオ
	設定
	情報

3. メインメニューアイコンにカーソルがある状態で、▶ または 決定 ボタンを押す。

サブメニューにカーソルが移動します。

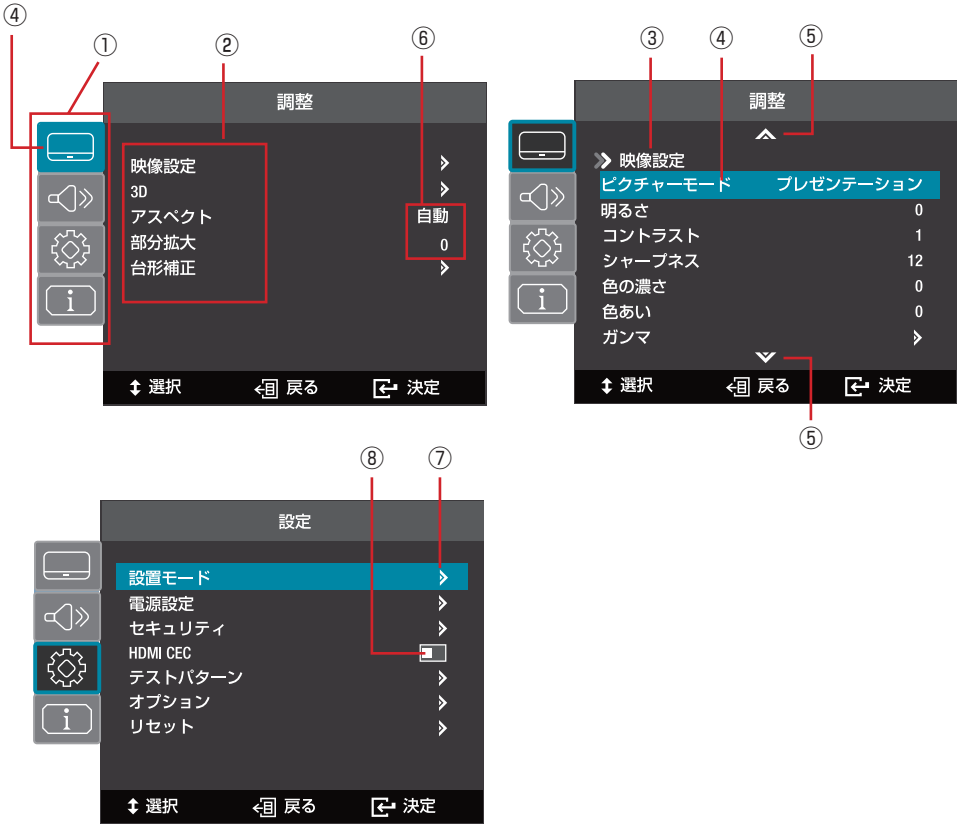
- サブメニューからメインメニューアイコンに戻る場合は、◀ボタンまたはリモコンの戻るボタンを押します。

4. ▼ / ▲ ボタンを押して目的のサブメニューにカーソルを合わせる。

サブメニューの右端に表示されているマークや項目名は、キー操作を表しています。

メニュー画面例の説明

① メインメニューアイコン
② サブメニュー
③ サブメニューのタイトル
④ カーソル
⑤ メニュー項目の続きがある
⑥ 項目名や数字が表示されているときは、**決定** ボタンまたは▶ボタンを押すと画面下部に選択画面やメニューバーが表示され、◀ / ▶ボタンを押すと候補が切り替わったり数値が増減したりします。**決定** ボタンを押して決定します。
⑦ 三角形のマークが表示されているときは、**決定** ボタンまたは▶ボタンを押すと、下の階層のメニューを表示します。
⑧ 四角形のマークが表示されているところは、項目のオン／オフを表しています。



4-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メイン メニュー	サブメニュー・設定値					参照 ページ
調整	映像設定	ピクチャーモード	HDR/HLG SIM.*、プレゼンテーション、シネマ、スポーツ、高輝度モード、ユーザー、3D			56
		明るさ	-50 - 50			
		コントラスト	-50 - 50			
		シャープネス	1 - 15			
		色の濃さ	-50 - 50			
		色あい	-50 - 50			
		ガンマ	フィルム、ビデオ、グラフィック、標準（2.2）			
		色設定	BrilliantColor™	1 - 10		57
			色温度	Warm、標準、Cold		
			色補正	色の濃さ	赤、緑、青、シアン、黄、マゼンタ、白	
				色あい	-50 - 50	
				彩度	-50 - 50	
				ゲイン	-50 - 50	
				リセット		
			カラースペース	自動、RGB(0-255)、RGB(16-235)、YUV		
		ライトモード	ダイナミックブラック、エコ、消費電力(100% - 40%)			59
		リセット				
	3D	3D モード	オフ、オン			
		3D 映像フォーマット	自動、Side By Side、Top and Bottom、Frame Sequential			
		3D 同期反転	オフ、オン			
	アスペクト	自動、4:3、16:9、フル、L. Box				60
	部分拡大	-5 - 0 - 25				61
	台形補正	4 点補正				
		水平台形補正	-30 - 0 - 30			
		垂直台形補正	-30 - 0 - 30			
		自動台形補正	オフ、オン			
		リセット				

メイン メニュー	サブメニュー・設定値			参照ページ
オーディオ 	ミュート	オフ、オン		63
	音量	0 - 5 - 10		
設定 	設置モード	Auto、正面投写 / 床置き、リア投写 / 床置き、正面投写 / 天吊り、リア投写 / 天吊り		64
	電源設定	自動電源オン	ダイレクトパワーオン	オフ、オン	65
			オートパワーオン	オフ、オン	
		オートパワーオフ	0 - 15 - 180		
	セキュリティ	セキュリティ	オフ、オン		
		セキュリティタイマー	月	0 - 12	67
			日	0 - 30	
			時	0 - 24	
		パスワード変更			
	HDMI CEC	オフ、オン			
	テストパターン	オフ、緑グリッド、マゼンタ グリッド、白グリッド、白			
	オプション	言語	English、Deutsch、Français、Italiano、Español、Português、Polski、Nederlands、Svenska、Norsk/Dansk、Suomi、繁體中文、简体中文、日本語、한국어、Русский、Magyar、Čeština、他		
		自動信号判別	オフ、オン		
		高地モード	オフ、オン		
	リセット	全てのリセット			
情報 	シリアル番号				68
	入力源				
	解像度				
	リフレッシュレート				
	ピクチャーモード				
	Light Source Hours				
	ライトモード				
	FW バージョン		システム		
			MCU		

*：HDR/HLG SIM. は、XP-M401H-W のみ対応しています。

4-3. 調整

4-3-1. 映像設定

4-3-1-1. ピクチャーモード

投写した映像に最適な設定を選択します。

HDR/HLG SIM.	HDR（High Dynamic Range）/HLG（Hybrid Log Gamma）の映像を投写するモードです。HDR/HLG 信号を検知すると、自動的にこのモードが有効になります。 このモードは、XP-M401H-W のみ対応しています。
プレゼンテーション	PowerPoint などでプレゼンテーションするときに適した設定にします。
シネマ	映画を投写するときに適した設定にします。
スポーツ	スポーツなどの映像を投写するときに適した設定にします。
高輝度モード	明るさを最大にするモードです。 ご使用の環境によっては、光学部品の寿命が短くなる場合があります。
ユーザー	お客様のお好みに調整した設定で投写します。
3D	3D 映像を投写するときに適した設定にします。 このモードは、DLP® Link に対応した映像コンテンツと、市販の 3D メガネが必要です。

4-3-1-2. 明るさ／コントラスト／シャープネス／色の濃さ／色合い

入力信号について、次の調整をします。

明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
色の濃さ	色を濃くしたり、淡くします。
色あい	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

4-3-1-3. ガンマ

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

フィルム	ホームシアターに最適な設定です。
ビデオ	テレビの映像を投写するときに最適な設定です。
グラフィック	コンピューターや写真を投写するときに最適な設定です。
標準（2.2）	標準的な設定です。

[注意]

- ガンマは以下の機能が有効のときには選択できません。
  - 3D モードが「オン」のとき。
  - ピクチャーモードが「HDR/HLG SIM.」のとき。

4-3-1-4. 色設定

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

BrilliantColor™	白色の明るさを調整します。	
色温度	色（R, G, B）のバランスを調整して色再現性を最良にします。 「Cold」を選択すると青みがかった白になり、「Warm」を選択すると赤みがかった白になります。	
色補正	色の濃さ	調整する色（赤 → 緑 → 青 → シアン → 黄 → マゼンタ → 白 →）を切り替えます。 「白」を選択すると「色あい / 彩度 / ゲイン」のメニューは「R/G/B」に変わります。
	色あい	下記の表をご覧ください。
	彩度	
	ゲイン	
	リセット	調整値を初期値に戻します。
カラースペース	投写した映像の色がおかしいときに、接続している映像機器に応じて設定を切り替えます。	

[注意]

- ピクチャーモードで「シネマ」を選択しているときは「色温度」は選択できません。

色補正

赤	色あい	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると黄色よりに変化し、「−」方向へ移動するとマゼンタよりに変化します。
	彩度	赤色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「−」方向へ移動すると弱くなります。
	ゲイン	赤色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「−」方向へ移動すると暗くなります。

緑	色あい	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとシアンよりに変化し、「−」方向へ移動すると黄色よりに変化します。
	彩度	緑色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「−」方向へ移動すると弱くなります。
	ゲイン	緑色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「−」方向へ移動すると暗くなります。
青	色あい	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとマゼンタよりに変化し、「−」方向へ移動するとシアンよりに変化します。
	彩度	青色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「−」方向へ移動すると弱くなります。
	ゲイン	青色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「−」方向へ移動すると暗くなります。
シアン（明るい青緑）	色あい	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「−」方向へ移動すると緑よりに変化します。
	彩度	シアンの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「−」方向へ移動すると弱くなります。
	ゲイン	シアンの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「−」方向へ移動すると暗くなります。
黄	色あい	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「−」方向へ移動すると赤よりに変化します。
	彩度	黄色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「−」方向へ移動すると弱くなります。
	ゲイン	黄色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「−」方向へ移動すると暗くなります。
マゼンタ（紫）	色あい	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「−」方向へ移動すると青よりに変化します。
	彩度	マゼンタの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「−」方向へ移動すると弱くなります。
	ゲイン	マゼンタの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「−」方向へ移動すると暗くなります。
白	R	「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「−」方向へ移動すると緑よりに変化します。
	G	「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「−」方向へ移動すると赤よりに変化します。
	B	「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「−」方向へ移動すると黄よりに変化します。

4-3-1-5. ライトモード

明るさのモードをダイナミックブラック / エコ / 消費電力の中から選択します。

ダイナミックブラック	入力信号に応じて明るさを自動的に調整し、最適なコントラストで投写します。
エコ	光源の輝度を約 70% に下げて、消費電力を最小にします。
消費電力	消費電力を 100% から 40% まで 5% きざみで切り替え、それに応じた明るさで投写します。

4-3-1-6. リセット

映像設定の調整値を初期値に戻します。

4-3-2. 3D

4-3-2-1. 3D モード

3D モードのオフ / オンを切り替えます。

4-3-2-2. 3D 映像フォーマット

3D 映像のフォーマット（記録／伝送方式）を選択します。
3D 放送や 3D 媒体に合わせた選択をします。
通常は「自動」を選択します。フォーマットの 3D 検出信号が判別できないときは、3D 入力信号のフォーマットを選択してください。

4-3-2-2. 3D 同期反転

左映像と右映像の表示順を反転します。
「オフ」で 3D 表示に違和感がある場合「オン」を選択します。

[注意]

- DLP® Link 方式の 3D メガネは、3D 映像信号に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。
  そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、3D 映像が観づらくなることがあります。
- ブルーレイプレーヤーの取扱説明書に記載されている動作条件を確認してください。
- 3D 映像のソフトをコンピューターで再生する場合、コンピューターの CPU やグラフィックスチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピューターの動作条件を確認してください。

4-3-3. アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。
本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4：3	4：3 のサイズで投写します。
16：9	16：9 のサイズで投写します。
フル	投写可能範囲いっぱいに引き伸ばして投写します。
L. Box	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向を均等に拡大して投写します。映像の上端と下端は表示されません。

[参考]

- コンピューターの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度		アスペクト比
VGA	640 × 480	4：3
SVGA	800 × 600	4：3
XGA	1024 × 768	4：3
WXGA	1280 × 768	15：9
HD (FWXGA)	1366 × 768	約 16：9
WXGA	1280 × 800	16：10
WXGA+	1440 × 900	16：10
SXGA	1280 × 1024	5：4
SXGA+	1400 × 1050	4：3
2K FHD	1920 × 1080	16：9
UXGA	1600 × 1200	4：3
WUXGA	1920 × 1200	16：10
4K UHD	3840 × 2160	16：9

4-3-4. 部分拡大

投写している映像を拡大および縮小します。
「3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大）」を参照してください。（→ 51 ページ）

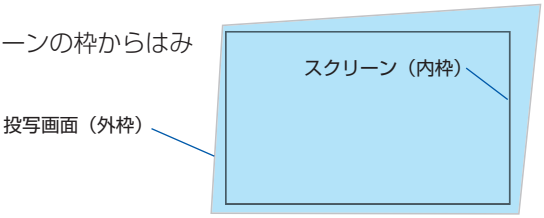
4-3-5. 台形補正

投写している画面の台形歪みを補正します。

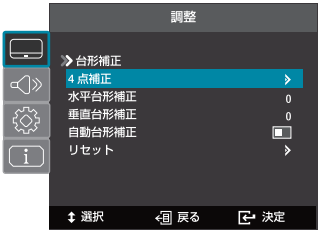
機能	説明
4 点補正	投写画面の 4 つの角について、各々▲▼◀ ▶ボタンを押して台形歪みを調整します。
水平台形補正	◀ / ▶ボタンを押して、水平方向の台形歪みを調整します。
垂直台形補正	◀ / ▶ボタンを押して、垂直方向の台形歪みを調整します。
自動台形補正	「オン」にすると、プロジェクターの傾きを検知して、自動的に垂直方向の台形補正をします。
リセット	台形補正の調整を初期状態に戻します。

4 点補正の操作について

4 点補正をする前に、投写画面がスクリーンの枠からはみ出すように位置を調整してください。



1. 台形補正メニューで「4 点補正」にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押す。



4 点補正画面が表示されます。
左上の角の位置にポインターが表示されます。



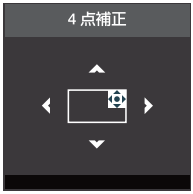
2. 決定 ボタンを押す。

3. ▲▼◀▶ボタンを押して、左上の角の位置を調整する。

4. 左上の角の位置が決まったら、戻る ボタンを押す。

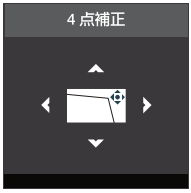


5. ▶ボタンを押してポインターを右上の角に移動して、決定 ボタンを押す。

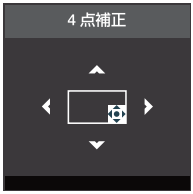


6. ▲▼◀▶ボタンを押して、右上の角の位置を調整する。

7. 右上の角の位置が決まったら、戻る ボタンを押す。

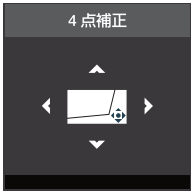


8. ▼ボタンを押してポインターを右下の角に移動して、決定 ボタンを押す。



9. ▲▼◀▶ボタンを押して、右下の角の位置を調整する。

10. 右下の角の位置が決まったら、戻る ボタンを押す。

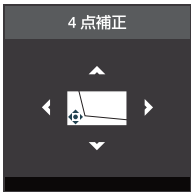


11. ◀ボタンを押してポインターを左下の角に移動して、決定 ボタンを押す。



12. ▲▼◀▶ボタンを押して、左下の角の位置を調整する。

13. 左下の角の位置が決まったら、戻る ボタンを押す。



14. ▲ボタンを押してポインターを左上の角に移動する。
投写画面がスクリーンに収まるように、手順 **2** ～ **14** を繰り返します。

4-4. オーディオ

4-4-1. ミュート

「オン」にすると、内蔵スピーカーおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。そして、画面の右上にミュートアイコンが表示されます。



4-4-2. 音量

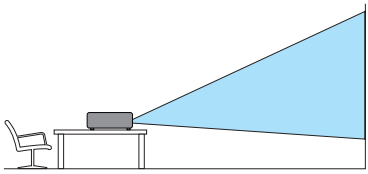
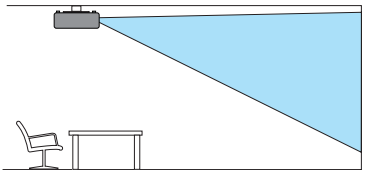
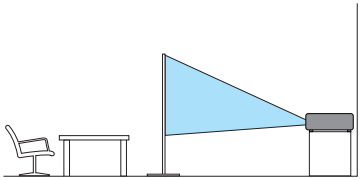
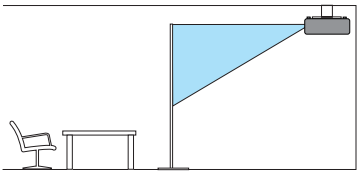
内蔵スピーカーおよび音声出力端子から出力されている音声の音量を調整します。

◀ / ▶ボタンを押して音量を調整します。

4-5. 設定

4-5-1. 設置モード

本機やスクリーンの設置状況に合わせて、「正面投写」か「リア投写」か、「床置き」で使用するか、「天吊り」で使用するかを選択します。
「Auto」を選択すると、本機の設置角度（床置き／天吊り）をセンサーで感知して、自動的に判別して、適切な向きで投写します。

	床置き設置	天吊り設置
正面投写	プロジェクターをテーブル上に設置し、スクリーンの正面で投写する場合。 	天吊り金具（市販）を使用してスクリーンの正面でプロジェクターを高い位置に設置する場合。 
リア投写	プロジェクターをテーブル上に設置し、スクリーンの背面で投写する場合（半透明のスクリーンを使用）。 	天吊り金具（市販）を使用してスクリーンの背面でプロジェクターを高い位置に設置する場合（半透明のスクリーンを使用）。 

警告	天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。 お客様による設置は絶対にしないでください。 落下してけがの原因となります。

4-5-2. 電源設定

4-5-2-1. 自動電源オン

ダイレクトパワーオン	プロジェクターに AC 電源が供給されると、自動的にプロジェクターの電源が入ります。
オートパワーオン	プロジェクターがスタンバイ状態のとき、HDMI 信号が入力されると、自動的にプロジェクターの電源が入り映像が投写されます。

4-5-2-2. オートパワーオフ

映像信号が未入力状態になると、設定した時間後にプロジェクターの電源が自動的に切れスタンバイ状態になります。0 ～ 180 分の間で設定できます。
「0」を設定すると、自動シャットダウンを実行しません。

4-5-3. セキュリティ

セキュリティパスワード（4 桁の数字）を設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティパスワード入力画面が表示され、正しいセキュリティパスワードを入力しなければ映像は投写されません。

[参考]

- 工場出荷時のセキュリティパスワードは「1234」が設定されています。

4-5-3-1. セキュリティ

● セキュリティを「オン」にする

1. オンスクリーンメニューの「設定」→「セキュリティ」→「セキュリティ」を選択する。
   パスワード入力画面が表示されます。



2. ▲ / ▼ ボタンを押して「1」を表示する。



3. ▶ ボタンを押す。
   2 桁目に「0」が表示されます。



4. ▲ / ▼ ボタンを押して「2」を表示する。



5. ▶ ボタンを押す。
3 桁目に「0」が表示されます。



6. ▲ / ▼ ボタンを押して「3」を表示する。



7. ▶ ボタンを押す。
4 桁目に「0」が表示されます。



8. ▲ / ▼ ボタンを押して「4」を表示する。



9. ▶ ボタンを押す。
4 桁すべてに「✤」が表示されます。



10. 決定 ボタンを押す。
画面下部にセキュリティ選択画面が表示されます。

11. ◀ / ▶ ボタンを押して「オン」を選択し、決定 ボタンを押す。
セキュリティが「オン」になります。

セキュリティを「オフ」にするには、手順 **1** ～ **10** を繰り返します。



4-5-3-2. セキュリティタイマー

プロジェクターの使用可能時間（月 / 日 / 時）を設定します。設定した時間が経過すると、電源が自動的に切れ、本機の電源を入れたときにプロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。

4-5-3-3. パスワード変更

セキュリティパスワード（4 桁の数字）を変更します。

[重要]

- セキュリティパスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。
- パスワードの入力を 3 回間違えると、自動的に本機の電源を切ります。
- パスワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- セキュリティパスワードを入力するときに、周囲の人にパスワードを盗み見られて悪用されないように、パスワードの入力に細心の注意を払ってください。
  もし盗み見られたと思った場合は、速やかにパスワードを変更してください。
- セキュリティの設定は「リセット」を実行しても初期化されません。

4-5-4. HDMI CEC

「オン」にすると、本機を含めた HDMI ケーブルで接続している機器間で電源のオン／オフを連動できます。

[注意]

- HDMI ケーブルで接続している機器が HDMI CEC（Consumer Electronics Control）に対応している必要があります。
- HDMI ケーブルで接続している機器が HDMI CEC に対応していても、連動できない場合があります。

4-5-5. テストパターン

プロジェクター設置時の画面の歪み状態の確認、フォーカスの調整、または色あいを調整する際に表示します。

4-5-6. オプション

4-5-6-1. 言語

オンスクリーンメニューや画面に表示するメッセージの言語を選択します。

4-5-6-2. 自動信号判別

「オン」にすると、入力されている映像信号を自動的に検知して投写します。

4-5-6-3. 高地モード

標高約 762m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に「オン」に設定します。冷却ファンを常に高速で回転します。

[注意]

- 標高約 762m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ず高地モードを「オン」に設定してください。高地モードを「オン」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 高地で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。

4-5-7. リセット

本機に記憶されている全調整・設定値を工場出荷状態に戻します。
ただし「言語」および「セキュリティ」の設定はリセットをしても変わりません。

4-6. 情報

シリアル番号、入力源、解像度、リフレッシュレート、ピクチャーモード、Light Source Hours、ライトモード、FW バージョンを表示します。



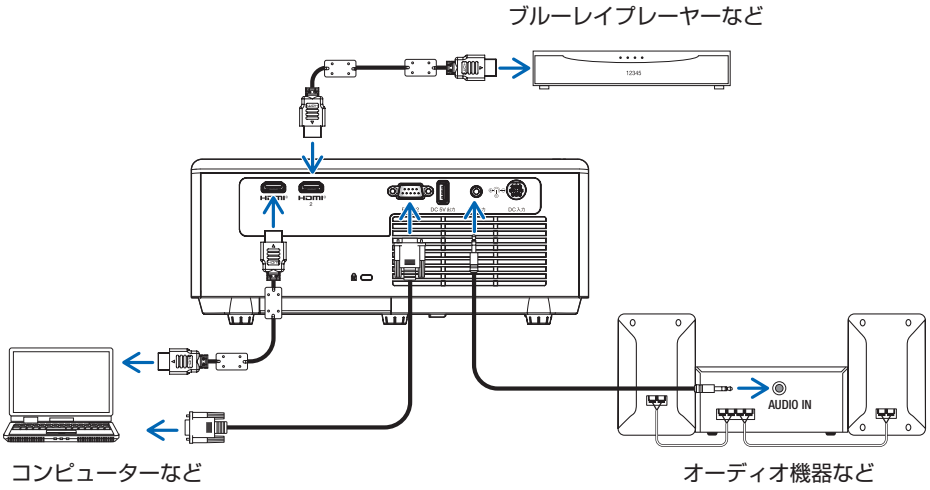
5. 機器と接続する

5-1. コンピューターや映像機器と接続する

外部機器との接続例です。

[注意]

- コンピューターや映像機器と接続する場合は、添付の HDMI ケーブルを使用してください。2 本目の HDMI ケーブルは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて「形名：0TJM401H01019」をお買い求めください。それ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。



信号ケーブルに関する注意事項

HDMI ケーブル（添付品）

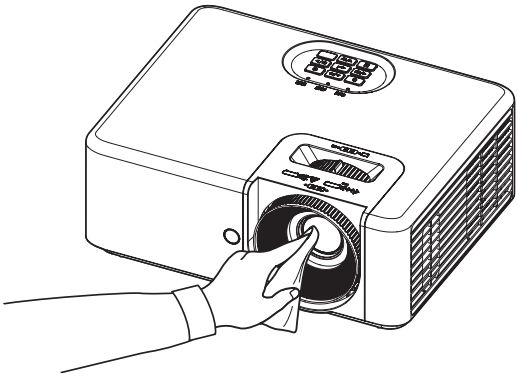
- 本機は、HDMI 信号レベルのフルレンジとリミテッドレンジを自動的に判別します。HDMI 入力信号が正しく投写されない場合は、HDMI 1 または HDMI 2 入力端子に接続している機器の信号レベルを確認して、オンスクリーンメニューの「調整」→「映像設定」→「色設定」→「カラースペース」の設定を切り替えてください。（→ 57 ページ）

6. 本体のお手入れ

6-1. レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。

警告	● レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。 ● レンズの清掃は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてからしてください。レンズの清掃中に電源が入ると、レンズからの強い光が目に入り、視力障害の原因となります。また強い光によって指をやけどするおそれがあります。

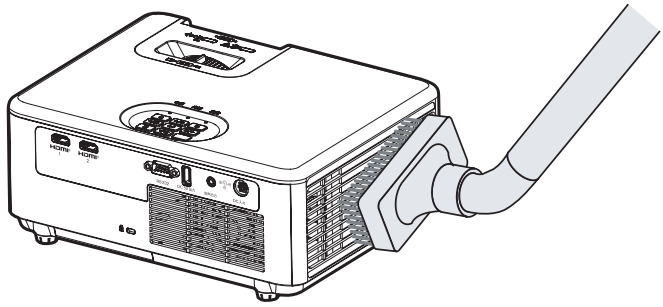


6-2. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口やスピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。

警告	キャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。



通風口のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

[注意]

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

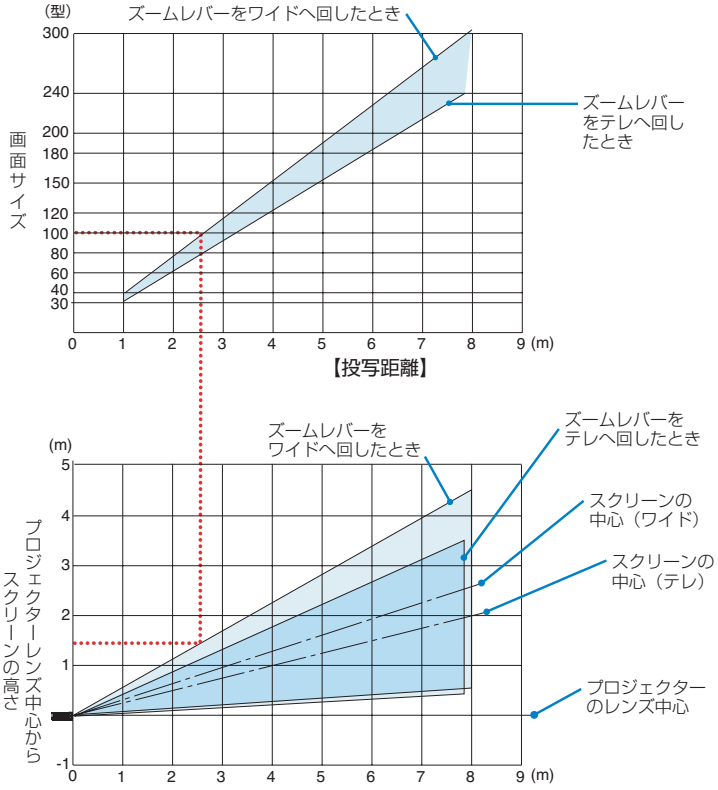
7. 付録

7-1. 投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。対応する機種名の投写距離をご覧ください。

適応機種 XP-M401H-W（アスペクト比 16:9）

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.98m（31 型の場合）～ 7.99m（312 型の場合）です。この範囲で設置してください。

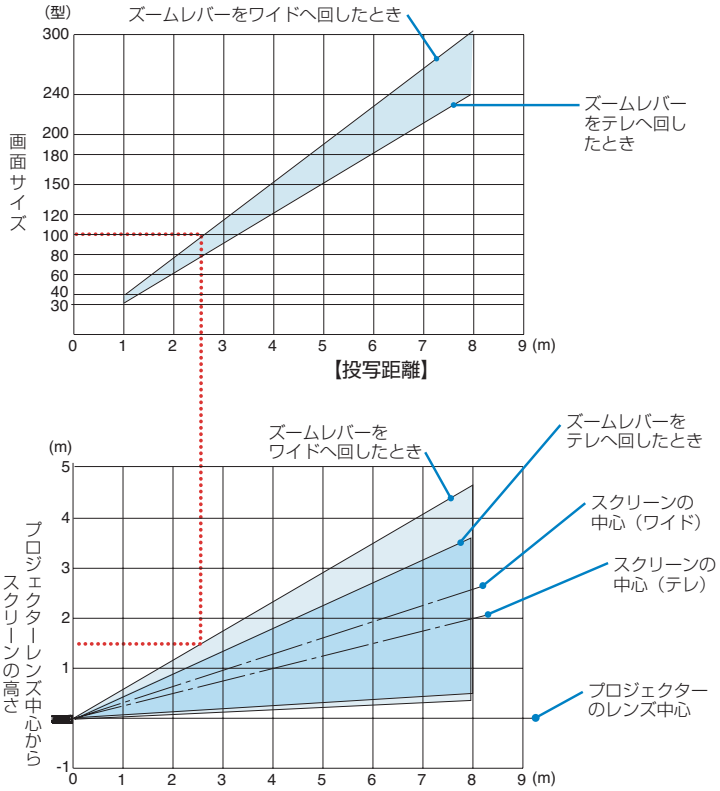


図の見かた

図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。
上図より 100 型スクリーンにワイドで投写するときに、2.55m 付近に設置することになります。
また、その下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端と下端を表しており、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。

適応機種 XP-M421W-W（アスペクト比 16:10）

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.97m（30 型の場合）～ 7.98m（313 型の場合）です。この範囲で設置してください。



図の見かた

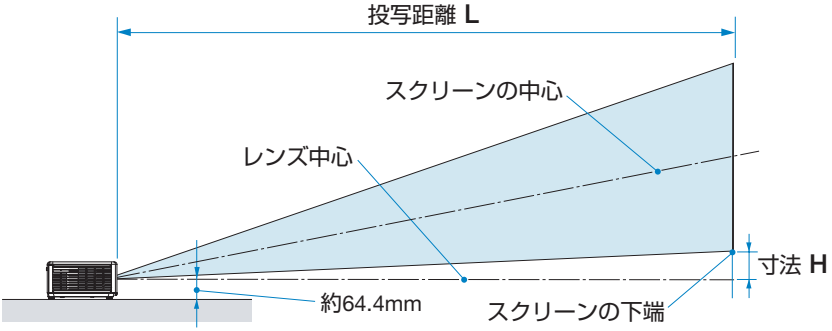
図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。
上図より 100 型スクリーンにワイドで投写するときに、2.54m 付近に設置することになります。
また、その下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端と下端を表しており、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。

デスクトップに設置する場合の例

以下の図は、プロジェクターをデスクトップで使用する場合の例を示しています。

水平投写位置：レンズの中心から左右均等

垂直投写位置： 下表を参照



寸法 H：レンズ中心からスクリーン下端までの高さ（チルトフットを縮めた状態）

適応機種 XP-M401H-W（アスペクト比 16:9）

スクリーンサイズ		スクリーンの幅	スクリーンの高さ	投写距離 L（m）		寸法 H
（型）	（m）	（m）	（m）	ワイド時	テレ時	（mm）
31	0.79	0.69	0.39	–	0.98	62
40	1.02	0.89	0.50	1.01	1.27	80
60	1.52	1.33	0.75	1.52	1.92	120
70	1.78	1.55	0.87	1.78	2.25	139
80	2.03	1.77	1.00	2.03	2.57	159
90	2.29	1.99	1.12	2.29	2.90	179
100	2.54	2.21	1.25	2.55	3.22	199
120	3.05	2.66	1.49	3.06	3.87	239
150	3.81	3.32	1.87	3.83	4.85	299
200	5.08	4.43	2.49	5.11	6.48	398
250	6.35	5.53	3.11	6.40	–	498
300	7.62	6.64	3.74	7.68	–	598
312	7.92	6.91	3.89	7.99	–	622

適応機種 XP-M421W-W（アスペクト比 16:10）

スクリーンサイズ		スクリーンの幅	スクリーンの高さ	投写距離 L（m）		寸法 H
（型）	（m）	（m）	（m）	ワイド時	テレ時	（mm）
30	0.76	0.65	0.40	–	0.97	50
40	1.02	0.86	0.54	1.00	1.30	67
60	1.52	1.29	0.81	1.51	1.96	100
70	1.78	1.51	0.94	1.77	2.30	117
80	2.03	1.72	1.08	2.02	2.63	134
90	2.29	1.94	1.21	2.28	2.96	150
100	2.54	2.15	1.35	2.54	3.29	167
120	3.05	2.58	1.62	3.05	3.96	200
150	3.81	3.23	2.02	3.81	4.96	250
200	5.08	4.31	2.69	5.09	6.62	334
250	6.35	5.38	3.37	6.37	–	417
300	7.62	6.46	4.04	7.65	–	501
313	7.95	6.74	4.21	7.98	–	522

適応機種 XP-M421W-W（アスペクト比 16:9）

スクリーンサイズ		スクリーンの幅	スクリーンの高さ	投写距離 L（m）		寸法 H
（型）	（m）	（m）	（m）	ワイド時	テレ時	（mm）
30	0.76	0.66	0.37	–	0.99	65
40	1.02	0.89	0.50	1.03	1.34	87
60	1.52	1.33	0.75	1.55	2.02	130
70	1.78	1.55	0.87	1.82	2.36	152
80	2.03	1.77	1.00	2.08	2.70	174
90	2.29	1.99	1.12	2.34	3.04	196
100	2.54	2.21	1.25	2.61	3.39	217
120	3.05	2.66	1.49	3.13	4.07	261
150	3.81	3.32	1.87	3.92	5.10	326
200	5.08	4.43	2.49	5.23	6.80	435
250	6.35	5.53	3.11	6.55	–	543
300	7.62	6.64	3.74	7.86	–	652

7-2. 対応解像度一覧

適応機種欄の「A」および「B」は以下を表します。
A ····· XP-M401H-W の HDMI 1 入力端子
B ····· XP-M401H-W の HDMI 2 入力端子、および XP-M421W-W
また「○」はこの形式の入力信号に対応していることを示します。「–」はこの形式の入力信号に対応していないことを示します。

信号名	解像度	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)	適応機種	
				A	B
VGA	640 x 480	4:3	60/120(*3)	○	○
SVGA	800 x 600	4:3	60(*3)/72/85/120(*3)	○	○
SVGA	832 x 624	4:3	75	○	○
XGA	1024 x 768	4:3	50/60(*3)/70/75/85/120(*3)	○	○
Mac 21 インチ	1152 x 870	約 4:3	75	○	○
SDTV (480i)	720 x 480	16:9/4:3	60	○	○
SDTV (480p)	720 x 480	16:9/4:3	60	○	○
SDTV (576i)	720 x 576	16:11	50	○	○
SDTV (576p)	720 x 576	16:11	50	○	○
WSVGA	1024 x 600	約 16:10	60	○	○
HDTV (720p)	1280 x 720	16:9	50(*3)/60(*3)	○	○
WXGA	1280 x 768	15:9	60/75/85	○	○
WXGA	1280 x 800	16:10	60/120(*3)	○	○
WXGA	1366 x 768	16:9	60	○	○
WXGA+	1440 x 900	16:10	60	○	○
SXGA	1280 x 1024	5:4	60/75/85	○	○
SXGA+	1400 x 1050	4:3	60	○	○
UXGA	1600 x 1200	4:3	60	○	○
HDTV (1080i)	1920 x 1080	16:9	50/60	○	○
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	24/30/50/60	○	○
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	120	○	–
WUXGA	1920 x 1200 (*1)	16:10	60	○	○
UHD (2160p)	3840 x 2160	16:9	24/25/30/50(*2)/60(*2)	○	–
4K2K (2160p)	4096 x 2160	約 17:9	24/25(*2)/30(*2)/50(*2)/60(*2)	○	–

(*1) 1920 x 1200 @60Hz は RB (Reduced Blanking) のみをサポートします。
(*2) XP-M401H-W の HDMI1 入力端子の UHD/4K2K タイミングのみをサポートします。
(*3) Blu-ray ディスクまたは DVD の 3D 信号のとき、本機は自動的に 3D モードに切り替わります。コンピューターなどの120Hz フレームシーケンシャル3D信号のときは、オンスクリーンメニューで 3D モードを「オン」に切り替えてください。

3D 信号

3D InfoFrame 情報付き

入力タイミング	3D 映像フォーマット	
1280 x 720p @ 50 Hz	Top and Bottom	
1280 x 720p @ 60 Hz	Top and Bottom	
1280 x 720p @ 50 Hz	Frame packing	
1280 x 720p @ 60 Hz	Frame packing	
1920 x 1080i @ 50 Hz	Side by Side (Half)	
1920 x 1080i @ 60 Hz	Side by Side (Half)	
1920 x 1080p @ 24 Hz	Top and Bottom	
1920 x 1080p @ 24 Hz	Frame packing	

3D InfoFrame 情報なし

入力タイミング	3D 映像フォーマット	
1920 x 1080i @ 50 Hz	Side by Side (Half)	SBS モードが「オン」
1920 x1080i @ 60 Hz		
1280 x 720p @ 50 Hz		
1280 x 720p @ 60 Hz		
1920 x 1080i @ 50 Hz	Top and Bottom	TAB モードが「オン」
1920 x1080i @ 60 Hz		
1280 x 720p @ 50 Hz		
1280 x 720p @ 60 Hz		
480i	HQFS（3D 映像フォーマットは Frame sequential）	

[注意]

- 3D 入力が 1080p@ 24Hz の場合、DMD は 3D モードの整数倍で再生する必要があります。
- 1080i@ 25Hz および 720p@ 50Hz は 100Hz で動作します。他の 3D タイミングは 120 Hz で実行されます。
- 1080p@ 24Hz は 144Hz (XGA、WXGA、1080p)/96Hz (WUXGA) で動作します。
- トリプルフラッシュ 3D モードのサポートについて - ASIC バッファメモリーの制限により、DDP442x は 1920 x 1080 の入力 3D ソースに制限されます。これは、WUXGA@ 24Hz はトリプルフラッシュモード (144Hz 出力レート) ではサポートされていませんが、ダブルフラッシュ モード (96Hz 出力レート) で処理できるか、3D 処理を有効にする前に WUXGA 入力画像を 1080p にクロップできることを意味します。

7-3. 仕様

形名			XP-M401H-W	XP-M421W-W
方式			1 チップ DLP 方式	
主要部品仕様	DMD パネル	サイズ	0.65 型（16.51mm） アスペクト比 16:9	0.65 型（16.51mm） アスペクト比 16:10
		画素数 (*1)	2,073,600 画素（1920 ドット× 1080 ライン）	1,024,000 画素（1280 ドット× 800 ライン）
	投写レンズ		F=2.45 ~ 2.78 / f=17.31 ~ 21.61mm	F=2.43 ~ 2.78 / f=16.90 ~ 21.61mm
		ズーム	マニュアル（ズーム比 1.27 倍）	マニュアル（ズーム比 1.3 倍）
		フォーカス	マニュアル	
	光源		レーザーダイオード	
	光学装置		カラーフィルター回転による色分解	
明るさ (*2) (*3)			4000lm ／ 4400lm（センター）	4200lm ／ 4600lm（センター）
画面サイズ（投写距離）			31 ～ 312 型 （0.98 ～ 7.99m）	30 ～ 313 型 （0.98 ～ 7.98m）
色再現性			10 ビット カラープロセッシング（約 10 億 7000 万色）	
走査周波数		水平	15 ～ 140kHz	
		垂直	24 ～ 120Hz	
入出力端子	HDMI	映像入力	HDMI® タイプ A × 2（DeepColor、LipSync） HDCP 対応 (*4)	
		音声入力	HDMI®（LPCM サンプリング周波数 32/44.1/48KHz）	
	音声出力		ステレオミニジャック× 1	
	RS232		D-Sub 9 ピン× 1	
	USB		USB タイプ A × 1、電源供給 5.0V / 1.5A	
スピーカー			8W モノラルスピーカー内蔵	
使用環境		動作温度	0 ～ 40℃ (*5)	
		動作湿度	20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）	
		保存温度	－ 10 ～ 50℃	
		保存湿度	20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）	
		動作高度	0 ～ 3000m （762 ～ 3000m は高地モード「オン」）	
消費電力		動作時	195W	
		スタンバイ時	0.5W	
外形寸法		突起部含む	278（幅）× 116（高）× 219（奥行）mm	
		突起部含まず	278（幅）× 109（高）× 216（奥行）mm	
質量			3kg	

AC アダプター

形名	EA12321N
入力	100 – 240V AC ± 10% 50/60Hz, 3.5A
出力	19.5V DC, 11.79A

(*1)：有効画素数は 99.99%です。

(*2)：JIS X6911:2021 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 B に基づいています。

(*3)：ピクチャーモードが「高輝度モード」、ライトモードが「消費電力 100%」のときの明るさです。他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(*4)：HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは“High-bandwidth Digital Content Protection”の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。

HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機の HDMI 1/2 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1/2 入力端子の映像が表示されないことがあります。

映像：DeepColor (ディープカラー：色深度): 8/10/12 ビット、Lip Sync

音声：LPCM; チャンネル数 ; 2 ch、サンプリング周波数：32/44.1/48KHz、
サンプリングビット：16/20/24 ビット

バージョン：【XP-M401H-W】HDCP 2.3 に対応（HDMI 1 入力端子）
HDCP 1.4 に対応（HDMI 2 入力端子）
【XP-M421W-W】HDCP 1.4 に対応

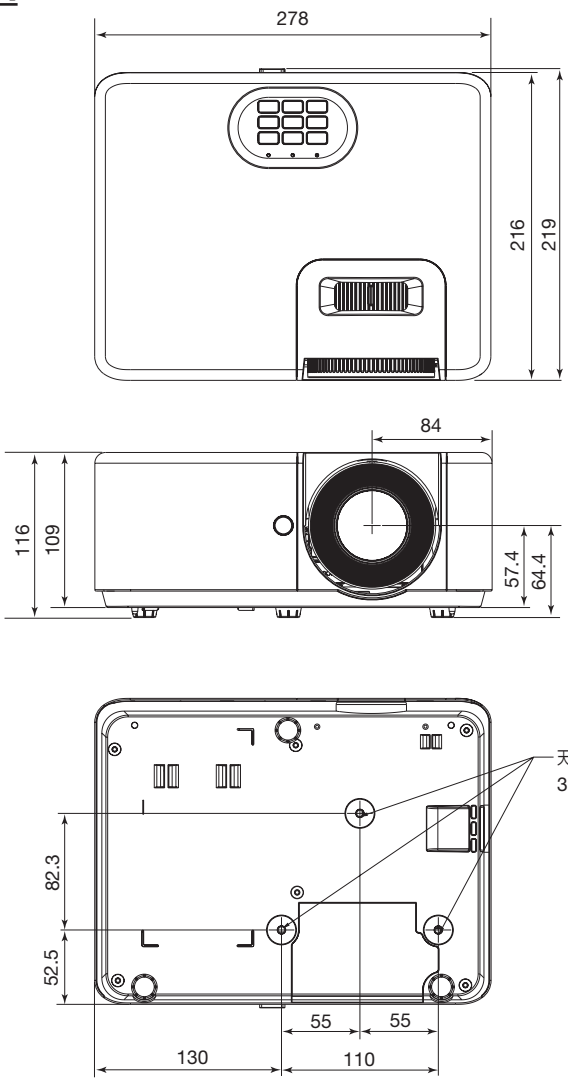
(*5)：以下の温度を超えると自動的に光出力が低下します。さらに温度が上がると自動的に電源が切れることがあります。

動作高度	ピクチャーモードによる動作温度範囲	
	「高輝度モード」のとき	「高輝度モード以外」のとき
0 ～ 762m	0 ～ 35℃	0 ～ 40℃
762 ～ 1524m	0 ～ 30℃	0 ～ 35℃
1524 ～ 3048m	0 ～ 25℃	0 ～ 30℃

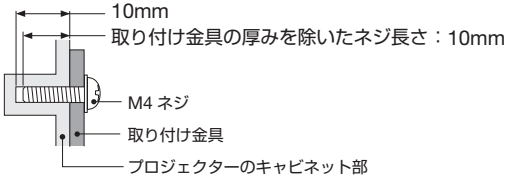
・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

7-4. 外観図

単位：mm

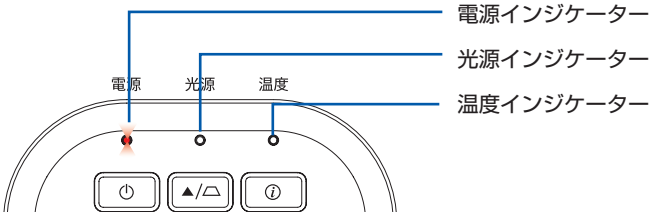


- 使用するネジの仕様



7-5. インジケーター表示一覧

本体操作部の３つのインジケーターが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



通常のインジケーター表示

電源	光源	温度	本機の状態
（消灯）	（消灯）	（消灯）	電源がオフ状態
赤色（点灯）	（消灯）	（消灯）	スタンバイ状態
青色（点灯）	（消灯）	（消灯）	電源オン状態
青色（点滅）	（消灯）	（消灯）	ウォーミングアップ／本体の冷却中 ・青色点滅中は操作ができません。しばらくお待ちください。 ・青色点滅中は電源を遮断しないでください。

異常時のインジケーター表示

電源	光源	温度	本機の状態
赤色（点滅）	（消灯）	赤色（点灯）	温度エラーを検出しました。吸気口および排気口がふさがれていないか確認してください。
赤色（点滅）	赤色（点灯）	（消灯）	光源エラーを検出しました。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ修理を依頼してください。
赤色（点灯）	（消灯）	赤色（点滅）	ファンエラーを検出しました。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ修理を依頼してください。
紫色（点滅）	（消灯）	（消灯）	そのままご使用いただけます。電源がオンしない場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ修理を依頼してください。

7-6. 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	38
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	ー
	標高約 762m 以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューの高地モードで「オン」を選択してください。 高地で本機を使用する場合に高地モードで「オン」を選択していないと、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後光源の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	68
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	ー
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューの「オートパワーオフ」で時間を設定していませんか。	65
	本機は標高約 3000m まで使用可能ですが、それを超えた場合は、本機を保護するために自動的に電源が切れます。	68
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体またはリモコンの入力切替ボタンを押して一度他の入力に切り替えたあと、再度入力切替ボタンを押して投写する入力を選択してください。	42
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	69
	AV ミュートボタンが押されていませんか。	50

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が出ない	コンピューター信号（HDMI）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	76
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、86 ページをご覧ください。	—
	HDMI 1/2 入力端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。 お使いのコンピューターに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。 再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピューター、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバーや最新 OS のインストールは、お客様の責任においてしていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	—
	それでも解決しない場合は、オンスクリーンメニューの「設定」→「リセット」を実行してみてください。	68
	標高約 3000m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクターが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときは高地モードを「オン」に設定してください。	68
映像が歪む	正しく設置されていますか。	44
	台形状に歪む場合は台形補正をしてください。	47 61
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	45
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	73
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。	—
	約 3000m を超える高地で使用した場合、本機を保護するために自動的に明るさを下げます。	68
HDMI 入力信号が正常に投写されない	HDMI 信号レベルを正常に判別できていない可能性があります。HDMI 1 または HDMI 2 入力端子に接続してる機器の信号レベルを確認して、オンスクリーンメニューの「調整」→「映像設定」→「色設定」→「カラースペース」の設定を切り替えてください。	57
音声が出ない	音量が最小になっていませんか。 またはオンスクリーンメニューで「ミュート」を「オン」にしていませんか。	48 63
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	34
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	33
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	34
	リモコンの有効範囲（6m）を超えていませんか。	34
インジケーターが点滅する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	82
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。その後約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	—

コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機を HDMI ケーブルで接続し、本機とコンセントを AC アダプターと電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピューターを起動してください。
特にノートブックコンピューターの場合、本機に接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

●コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

[参考]

- Windows のノートブックコンピューターの場合は、キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

  【コンピューターメーカーとキー操作の例】

Fn ＋ F5	Dynabook
Fn ＋ F8	DELL

  ※詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングを設定します。

●ノートブックコンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。
多くの場合、ノートブックコンピューターの制限（コンピューター自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整しても正常に表示されないことがあります。
上記の場合は、ノートブックコンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作すると、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプター（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起

動してください。

● MacBook と本機を同時に表示させる場合

MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を本機の表示解像度に設定できないことがあります。

● Mac の投写画面からフォルダーなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

7-7. トラブルチェックシート

発生頻度 □常時 □時々（　　回中　　回） □その他(　　)

電源関係

□ 電源が入らない（電源インジケーターが青色に点灯しない）。
- □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
- □ ⏻ボタンを押しても電源が入らない。

□ 使用中、電源が切れる。
- □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
- □ オートパワーオフは「オフ」に設定されている。

映像・音声関係

□ コンピューターの画面が投写されない。
- □ コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。
- □ ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。

  Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます（コンピューターによって異なります）。

□ 映像が出ない（ブルーバック ・ 表示なし）。
- □ 「リセット」を実行してもなおらない。
- □ 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
- □ 画面に何かメッセージが出ている。
  （　　）
- □ 接続している入力を選択している。
- □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
- □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。

□ 映像が暗い。
- □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。

□ 映像が歪む。
- □ 台形に歪む（台形補正を実行してもなおらない）。

□ 映像が切れる。
- □ 「リセット」を実行してもなおらない。
- □ 水平または垂直方向に映像がずれる。
- □ コンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
- □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。
- □ 数ドット欠けている。

□ 映像がちらつく。
- □ 「リセット」を実行してもなおらない。
- □ コンピューター映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。
- □ 高地モードを「オン」から「オフ」にしてもなおらない。

□ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。

□ 音声が出ない。
- □ 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。
- □ 音量を調整してもなおらない。

その他

□ リモコンが利かない。
- □ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
- □ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。

□ 本体操作パネルのボタンが利かない。
※ キーロック設定のある機種において
- □ キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

形名：☐ **XP-M401H-W**
☐ **XP-M421W-W**

製造番号：

購入時期：

ライト使用時間：

エコモード：☐ノーマル ☐エコ

入力信号情報：
水平同期周波数 [kHz]
垂直同期周波数 [Hz]
同期極性 H ☐(+) ☐(−)
V ☐(+) ☐(−)
同期形態 ☐セパレート ☐ミックス
☐Gシンク

インジケーターの状態
点灯（ ）
点滅（ 回周期）

設置環境

スクリーンサイズ： 型
タイプ：☐ホワイトマット ☐ビーズ ☐偏光
☐広視野角 ☐ハイコントラスト

投写距離： m

投写方法：☐天吊り ☐床置き

電源コンセントは？
☐壁からのコンセントを直接利用している。
☐電源用テーブルタップを利用している。
（他、接続機器の数： 台）
☐電源ドラム（ロール式）を利用している。
（他、接続機器の数： 台）

コンピューター

メーカー：

形名：

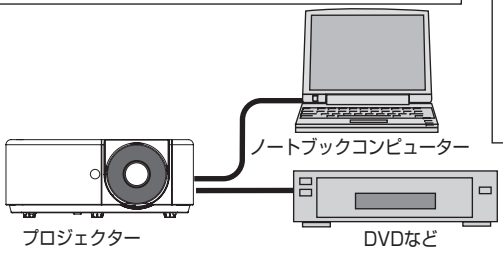
ノートブックコンピューター・デスクトップ一体型

解像度：

リフレッシュレート：

ビデオボード：

その他：



信号ケーブル

純正・その他
（形名： 長さ： m）
分配器
形名：
スイッチャー
形名：
アダプター
形名：

接続機器

ビデオ ・ DVD ・ カメラ ・ ゲーム ・ その他

メーカー：

形名：

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

- この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- 保証期間はお買いあげの日から 3 年間です。
  本製品には有寿命部品（光学エンジン、光源ユニットなど）が含まれます。
  有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境（温度、湿度など）の条件により異なります。
  長時間連続使用など、ご使用状況によっては製品の保証期間内であっても有料での部品交換が必要になりますので、シャープサポートページ（裏表紙）をご確認ください。

■ 補修用性能部品について

当社は、本製品の補修用性能部品を製造打切後、5 年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ 修理を依頼されるときは（持込修理）

先に「故障かな？と思ったら」（→ 82 ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

お願い	修理を依頼される際は、プロジェクター本体と AC アダプターを一緒にお出しください。

ご連絡していただきたい内容

品名	プロジェクター
形名	XP-M401H-W XP-M421W-W （取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
お買いあげ日	（年月日）
故障の状況	（できるだけ具体的に）
ご住所	
お名前	
電話番号	

次ページに続く

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

使いかたのご相談など

弊社製品が接続されているシステムの使いかたなどは、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

シャープサポートページ：

https://jp.sharp/business/lcd-display/support/

- 問い合わせフォームよりお問い合わせください。
- 「よくあるご質問」もご活用ください。

修理のご相談など

【修理ご相談窓口】

シャープマーケティングジャパン株式会社

0570-00-5008（・全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。・携帯電話からもご利用いただけます。）

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

■ IP 電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は … **06-6794-9676**

■ 沖縄地区の方は … 沖縄シャープ電機株式会社　**098-861-0866**

受付時間 月曜～金曜：9:00～17:00（土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

● 電話番号・受付時間などは変わることがあります。(2026.9)

シャープ株式会社

本 社　〒 541-8522 大阪府大阪市中央区久太郎町 2 丁目 1 番 25 号